大正七年十二月十八日 THE KEIJO NIPPO 第三千七百三十九號 (一)

京城日報

十七日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

第四十回帝國議會（東京特電）

衆議院（十六日）

▲本會議

十六日午後一時二十分開會、諸般の報告後直ちに日程に入り戰時船舶管理令(承諾を求むる件)に付き特別委員長

▼鵜澤總明氏(政友)登壇 委員會の經過を報告し原案贊成の意見を述ぶるや▲正木照藏氏(憲政)意見を述て原案に反對す次で

▼横山勝太郎氏(憲政)質問ありとて登壇し管理令濫廃の責任を糾詰するや田逓相是れに答辯す次に

▼野村嘉六氏(無政)登壇 寺內首相以下の出席を要求せるも起立採決の結果少數にて否決次いで久しく沈默を守り居りし

▼花井卓藏氏(無所屬)登壇 質問を試み此緊急勅令は國民の所有權を拘束するが如き事なきやを疑はざるを得ずとて緊急勅令の性質に就て政府の見解を求むるや

▼田逓相 緊急勅令をして事實上に効力を有せしめん爲め提出せしや否やに就ては學者間にも議論存する處なりと雖も將來に効力を有せしむる必要ある時にも提出せずと云ふの意なし又緊急勅令を將來法律に改めざるべからずと云ふ事なし花井君は委員會に於ける政府の言明を以つて法律の精神を變更するもの、如く解釋せられ全然誤解なり唯其手續を簡便にすると云ふに過ぎずと述べ是にて質問を打切り討論に移り玆に

▼正木照藏氏(憲政)登壇 本案に承諾を與ふべからずと論斷し

▼横田千之助氏(政友)は要するに本令たるや外は共同の敵の便に供し內は產業運輸の調節を計るものにて時局の今日又當然の處置なりと信ずと原案贊成の意を表し、岩崎勳氏(政友)の動議にて討論終結起立にて採決の結果多數にて承諾を與ふるに決す次いで恩給法中改正法律案

▼八木逸郎氏(政友)登壇 提案理由を說明し九名の特別委員に附託

軍事救護中改正法律案

▼赤尾彦作氏(政友)提案理由を說明し九名の特別委員に附託

爆發物取締罰則廢止法律案

▼磯部尚氏(政友)提出理由を說明し九名の委員附託

私立學校及び公益法人の用地免租に關する法律案

▼林毅陸氏(政友)提案理由說明九名の委員附託

家祿賞典祿處分に關する法律案
沒收處分を受けたる者に對する家祿賞典祿處分に關する法律案

何れも一讀會の續きとして一括して議題に上し委員長添田十壽氏(政友)委員會の經過を報告し清水市太郎氏(政友)贊成演說を爲し委員長報告通り可決確定

優良商工業賞に關する建議案

▼成田榮信氏(政友)提案理由を說明し九名の委員附託

▼岩崎勳氏(政友)より其他の日程に就ては延會の動議を提出せしに成立、是れにて散會時に午後五時十分

小露西亞 閣僚捕縛議決

過激派政府の閣議に於て小露西亞政府閣僚全部及びブレストリトウスクの講和談判に參加したる代表者等を捕縛する事に決せり（哈爾賓特電）

曹錕の軍隊配備

第十八師司令部におりし兩廣宣撫使曹錕氏は王占元氏と協議中なるが曹錕氏は新に南下せる北軍を湖北討伐第一線に配し長沙岳州にて敗北せる第八師第二十師の南軍全部に後方守備を爲さしむべしと（北京特電）

鐵船交換條件內容

關係代表者會議決定

▲交換交渉經過 我國より米國政府に對する鐵鋼輸出の交渉が打切られて以來其解決は殆んど絕望視せられ居たるも事實に於ては引續き我民間造船業者及び貿易業者等より米國船舶管理局に對し事情を具して既約品の輸出を許可せん事を交渉し居たるが最近に至り個々の折衝にては到底捗らざるのみならず種々の不便あるを以て玆に當業者一致の行動を採ることとなり再三會合熟議の末大體鐵と船舶との交換せん意嚮を定めて政府に具申し再び兩政府間直接の交渉は開始せられたり一方米國政府に於ても聯合與國に對する食料品軍需品輸送の各船舶に缺乏を告げ殊に同國の造船計畫も各種の事情に依りて豫期の進捗を見る能はざる場合なれば船舶の供給をだに得ば幾分鐵の輸出を許可するも可なりとし種々交渉の結果大體既報の如く米鐵一噸に對し船舶二噸を供給する事に纏りたる者也

▲交換條件內容 右の結果に基き我當業者は最後の意嚮を決定する爲め三菱造船、淺野造船、横濱船渠、浦賀船渠、石川島造船所、三井、鈴木、久原、高田、大倉等の代表者は十四日午前十一時より東京海上ビルヂング淺野造船所支店內に會合し野頭淺野鈴木(代表金子氏)兩氏より從來の交渉經過を報告し引續き協議に入りたるが何分造船業者と貿易業者との利害往々一致せざるのみならず船業者間に於ても亦幾分の差違あるを以て相當意見多かりしも結局左の如く折合ひ之を最後の決議として我政府に申達する事とし午後三時散會す因に代表者は同四時遞信省に出頭し大臣及び次官に對し決定案を提出せり

一、輸入すべき米鐵の數量は既約品四十六萬餘噸を基準とす
一、鐵一噸に對し船舶二噸(重量噸)を提供すべき船舶は輸入鐵に依りて建造したるものなる事
一、鐵の價格は既約品は契約當時の相場に依る事
一、船舶の價格は輸入鐵の價格及び同國の協定價格に應じ米國政府の決定に倣ふ事
一、輸入鐵類は我國にて製造不可能のボイラー、プレート、スチール、シップ、プレート等を主とする事

▲交渉成立近し 我政府は此當業者の決定案に基き近く米國政府に對し公式に交渉を開始すべきが右の要點は今日迄に大體米國側の了解を得居る所なるを以て案外急速に解決を見るに至るべし殊に注意すべきは交換船舶は既成品に依るべしと傳へらるゝも我交渉の基礎は輸入したる鐵によつて建造したる船舶にして勿論米國側は現在船舶の提供を希望せるに相違なきも此は全然不可能の事なれば斯く豫め了解を得たるものなりと從つて我國より提供すべき船舶の數量は輸入鐵の數量に比例するものなれば若し既約鐵量全部四十六萬噸を輸入すとせば船舶約百萬噸を提供すべき次第にて此場合に於ける船舶輸出は我が船舶管理令の例外として取扱ふは勿論なり我國が此交渉成立に依り受くる利益は鮮少ならずして交換數量及び價格の差より計算せば約五千萬圓以上の船舶を增加し得るに至らんか

京城太平町通一丁目 發行所 京城日報社 [illegible]

總督府修正豫算（東京）

大正七年度朝鮮總督府特別會計歲入豫算案は衆議院にて郵便電信料値上案否決の結果原案左の如く修正されたりと

修正豫算 原案 修正案
歲入第一款 經常部 [illegible]
臨時部 [illegible]

通信料引上否決より來る歲入の缺陷は剩餘金繰入を行ひたりと

日露貿易近況

客年十二月中に於ける日露貿易通況を聞くに輸出二百九十一萬二千五百四圓、輸入三十四萬六千三百二十九圓、再輸入品價六萬四千百五十圓即ち輸入全計四十一萬零四百七十九圓にして之を前月に對比すれば輸出合計に於て百六萬三千六百十四圓の減、輸入全計に於て十六萬七千二百八十四圓の增加を示せり、而して當月中輸出品の主なるものは紙の三十二萬三千餘圓、眞鍮及び亞鉛板の二十五萬七千餘圓鐵製品の二十萬二千餘圓、銅(塊及錠)の十八萬四千餘圓其他蜜柑、林檎、沃度加里、打綿、綿紗及びセルヂス等にして輸入品の主なるものは鑛十四萬七千餘圓、豆類の六萬九千六百餘圓、サントニンの二萬六千圓等なり而して客年中貿易總額は輸出累計八千七百七十四萬八千餘圓、輸入累計五百六萬八千餘圓を示せり

在阪鮮米增加

大阪主要倉庫に於ける鮮米の現在調査を聞くに在庫量約八萬石金額百六十四萬圓にして昨年末に比し約三千石の增加を示し居れりと

有史以來の大戰

獨軍の轉回と戰局の推移

駐剳軍某參謀の談

歐洲電報は切りに白佛方面乃至西部戰線に於ける英佛米軍對獨墺軍の大決戰期の近づきつゝある事を報じてゐる戰局の變化果して如何駐剳軍某參謀は語る

▼大戰の準備 昨夏獨墺同盟軍が伊太利軍を伊墺國境に散々擊破して以來歐洲戰場から戰爭らしい戰爭のあつたと云ふ報道は殆んど傳はらない、之れは多分西歐の雨期で大軍の行動上不便なりと云ふ時候の關係も幾分含んでゐるが其の主要原因は兩軍共に大戰を前に控へ其の準備に汲々たるためである、乃ち獨軍は對露休戰の結果東部の露國戰線から大軍を逐次白佛方面に轉向させ其の兵力の增大を圖り一方兵站の準備彈藥の補給に全力を擧げてゐるらしい其の

▼幾許の兵力 を東部戰線より割き西部方面に擴大したる事けより精細な數字を知る事は不可能だが大凡百九十師團乃至二百個師團位に達すべく從來西部戰線は獨墺の二に對し英佛白米の兵力は三を維持し數に於ては僅かに優勢であつたが恐らく目下の形勢より大觀すれば兩軍の兵力は二對二少なくもそれに近い位に推移したであらう今日まで英佛軍が獨軍に幸ふじて對峙し得たのは其の兵力の優勢と云ふ事が大なる理由であつた、然るに現在では其の優勢と云ふ事は認めなくなつてゐる、之れ米國の軍隊增遣が急務となり頻に傳へられた

▼英國首相 ロイドジョーヂ氏の悲壯なる募兵演說となつたのである、尤も獨軍が東部戰線から精兵の西部轉向に全力を擧げしに劣らざる熱心を以て英佛米側も亦兵力の增加武器彈藥の充實に非常の努力を費やしてゐるのは勿論である、兩軍の準備は春近き昨今に至つて來た山雨應に到らんとして風樓に滿るの概は實に刻下の白耳義戰線を形容し得た言葉であらう

▼勝敗如何 今回の決せらるべき西部戰線の大戰は誠に有史以來の大戰であつて恐らく斯の如き兵力を擁し斯の如く大規模の戰爭をなす事は今回が最終であらうと思ふ、聯合側が捷つ乎、獨墺軍の勝利となるか、但しは又我れた現勢を持續して行くか、今回の大戰に於て決せらるゝ譯である勝敗の決は素より逆睹し難いけれども前述の如き獨軍兵力の增加は聯合軍のために我に樂觀を許されないものがある

▼獨軍の精兵 が露國方面から轉回して來たと云つてもその精兵なる語は比較的の言葉であつて開戰當時の精兵の如く勇武強剛のものでない事は素よりである、又今日の西部戰線は殆んど數百里の連續せる塹壕によつて對抗してゐるのだから又現下の火砲の威力等より觀る時獨軍がいかに優勢なりとて決河の勢ひを以て英佛軍を各方面共突破する事は到底出來まい、先づ昨年來聯合軍側に奪回された土地を

▼又復占領 する位に留まるであらう、唯一の懸念は獨軍が露國方面より轉向して來た大部隊を一局部に集中し其一局部に殺到して英佛軍の一地點を掃蕩し深く內部に侵入する樣の事があればそれこそ云ふ事である、果して左樣な變化を見るとすると戰局今後の推移に頗る憂ふべき影響を來すと思はれる最近獨軍が瑞西國境方面に大軍を集中したと云ふやうな電報は如斯戰略の一面を語つたものではあるまいか之れ予等の最も注目を怠らぬ點である

米入國取締（四）

十六歲以下の子女にして父母若くは其孰れかに帶同せられざるか又は其許に赴く者にあらざる者但し勞働務長官により公共の負擔となるべき虞なしと認められ且他の點に付き入國資格ある場合に同長官の裁量を以て之が入國を許可せられたる者は此の限りにあらず現行條約により反對の規定ある場合を除き北緯二十度以南「グリーンウヰッチ」東經百六十度以西南緯十度以北の間に位する亞細亞大陸に隣接し合衆國領に屬せざる諸島の土人たる者又は『グリーンウヰッチ』東經五十度以東北緯五十度以南の間に位する亞細亞大陸上にある國、地方又は屬領地中より『グリーンウヰッチ』東經五十度と六十四度及北緯二十四度と三十八度との間にある土地を除きたる部分の土人たる者又は現時何等かの方法により合衆國より排斥せられ又は之が入國を防止せらるゝ一切の外國人

前項の規定は左の地位又は職業を有する者には適用せず

官吏但又は布教師、宣教師、講演師、化學者、土木技師、教師、學生、著述家、美術家、商人、漫遊者並に右等の正妻又は十六歲以下の子女にして之に帶同せらるゝか若くは其後合衆國入國を出願する者但し右等の者又は其正妻若は其外國出生兒にして之を例外階級に屬せしめたる地位又は職業を合衆國に於て維持せざる者は合衆國に在て居住する者を認め本法第十九條により送還せらるべし本法通過より三箇月以後は前記法律に依る合衆國入國を拒絕せらるゝ外國人以外に左記の者も亦其入國を拒絕せらるべし即ち生理上讀書能力を具ふる十六歲以上の一切の外國人にして英語又は或他の言語若くは方言(希伯來語又は猶太語を含む)を讀むこと能はざる者、但し入國資格ある外國人、從來適法に入國を許されたる外國人若は將來適法に入國を許さるべき外國人、又は合衆國人民は他の點に付き入國資格ある父、若くは祖父(但し五十五歲以上の者に限る)妻、母、祖母又は未婚の娘若は夫に死別したる娘を其讀書能力あると否とを問はず同伴若は呼寄することを得べく是等の親族は其入國を許可せらるべし外國人讀書能力の有無を確むるため移民檢査官は勞働務長官の指揮に基き調製せられたる同形紙片の支給を受くべく右紙片には移民が用ふる或る一つの國語若は方言に付き明瞭讀易き活字にて印刷したる普通用語三十字以上四十字以下を記載すべし關係外國人は其受驗を希望する特殊の一言語若は方言を指定し該言語又は方言にて印刷せられたる紙片の文字を讀むものとす左の各項に該當するものは文字試驗を免除せらるべし

最近の永住國に於て其宗教信仰上の關係より自己若は其屬する人種に對し偏頗なる行爲法律若は規則により爲されたる宗教上の迫害を回避する爲合衆國に入國するものなることを當該移民官又は勞働務長官に對し充分立證したる外國人但し合衆國入國を許可せられ引續き五年間居住したる後外國に赴き出發の日より六箇月以內に歸還する一切の外國人合衆國を通過する一切の外國人

●西湖津客年貿易

西湖津に於ける大正六年中沿岸貿易を見るに移出百五十四萬八千七百六十一圓移入二百三十二萬五千八百六十六圓計三百八十七萬四千六百二十七圓に達したり之を前年の同期に比すれば移出は七十七萬三千九百五十四圓移入は八十四萬九千五百七十六圓合計百六十二萬三千五百三十圓の激增を示せり要は時局の影響に依る諸物價の昇騰に伴ひ貿易額の增大したる外移出に於ては米、大豆等の出增、移入に於ては一般主要貿易品の增加したるに基因すと

●國分司法部長官

大田地方に出張中なりし司法部長官國分三亥氏は十七日朝歸任せり

●交通部員來鮮期

去る八日より滿鐵沿線視察中なる支那交通部員十三名は來る十八日奉天より五龍背著一泊十九日安東縣著の上同日朝鮮線視察の途に上り二十八日再び奉天に向ふ豫定なるが重なる人々は左の如し(安東縣)

▲京奉鐵路事務所副處長[illegible]▲津浦鐵路[illegible]▲京漢鐵路[illegible]▲京綏鐵路[illegible]

●阿部氏出發

鮮銀滿洲副總支配人阿部秀太郎氏は十六日午後九時四十分南大門驛發列車にて出發赴任したるが停車場には大田理事、高野三井物產、東亞西村、一銀吉田、朝郵、漢銀、河井百三十、其他銀行會社幹部並に青木商工、水口稅務、平井專賣各課長其他數百名の見送ありたり

●大原氏歐米出張

鮮銀司事大原龍夫氏は十七日午前八時四十分南大門驛發列車にて東上したるが來る三月末の便船にて亞米利加に向ひ若干月滯留の後英國に轉じ場合により歐大陸にも立寄る可く出張期間約一年の豫定に付入年三四月頃歸朝すべしと

●自動車營業許可 黃海道長淵今卜間乘合自動車營業出願に對し二月十五日附許可の指令ありたり

●鴨綠江橋通過人員 本年一月中に於ける鴨綠江橋梁通過人員は日本人七千五百五十六人朝鮮人萬九百六十五人支那人三萬一千二百六十七人西洋人六人計七萬七百三十五人にして車輛は人力車一萬四百三十八臺自轉車一千八百三十輛なりき

彼れ此れ

◆米國大統領議會に臨んで、堂々數萬言、立論雄大、世界的民族自定の、大主義を高調す、眞に天下の壯觀也。而も單に口舌の上に不止、出兵一千萬を計畫する處、大鵬張翼、一路將に天に朝せんとするの概あり。聯合側の霸權、英を去りて、米國の掌裡に歸す、遠きに非ざるが如き、觀なきにしも非ず。獨逸主義勝つか、米國主義勝つか、世界の思潮は、蓋し此兩者に依つて、代表さるべきを思ふ

◆獨逸は巧に、過激派の橫暴を利用せるが、其の味方たる墺國に於ては、過般の大同盟罷業の際、維也納街上を、示威的に練り歩きし勞働者等は、其の男女を問はず、盛にトロツキー萬歲を高唱せりと云ふ、之をしも所謂、猩と狐の相撲とや評せんか。

◆須磨の某家の別莊に、美人の幽靈出づとの噂高し、京都市中に白晝少女の下髮を切る、老婆ありと、迷信か狂人か、事は敢て珍稀に非ざるも、場所が場所柄丈け何となく人心を惹く。

赤玉ポートワイン

「赤玉ポートワイン」は健胃、補血、興奮、强壯の効顯著なる葡萄酒なる事は既に七大醫學博士の賞讃と證明せらるゝ所にして今や各大醫の藥局に於て滋養劑として實用されつゝあり、其味美味なるに依り婦人小兒の口にも適する美味滋養の葡萄酒なり

七大醫學博士の賞讃と證明を有す

鑛山用麻袋
新古麻袋麻絲小麥粉袋製造商
門司市外大里 合資會社 石川商店出張所
精出勉勵可仕候 御注文願上候

製造元とのやくそくで
砂糖、麥粉、莨、金巾、綿寸、石油、洋酒、酒瓷、玩具、乾物、罐詰、ビール、サイダ、葡萄酒、清酒、醬油、染粉、足袋、其他內地人向雜貨食料品
割の安い品そろいの
大おろし店
仁川本町
河野本店 電話一二八番

優等清酒

醸造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店
發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店 電話[illegible]

耐火煉瓦
▲蠟石煉瓦(三十番より三十四番)
▲シャモット煉瓦(三十番より三十四番)
▲ダイナス煉瓦 ▲マグネシヤ煉瓦
▲耐火モルター其他耐火物各種
平壤府橋口町(電話壹百五番)
合資會社 京谷商店

濟州島の牛馬 (三)

＝營養不良と酷寒の爲に＝

◇牛馬百數十頭が凍れ死んだ◇

◇罠の如き馬

濟州島の馬は何れも矮小の上に營養不足して居るから萬容殆んど歩くにも堪へ難さかに見ねるが、力は比較的强く、蹄は非常に硬固で如何な險路峻坂でも蹄鐵無くして平氣で驅け廻り、運搬用としても仲々に働き能い、形容は耳尖り、鼻は大きく、背は平く臆平かで一見

▼△醜状に 見ねるが島民はその性質に就いて……似たり、云々

▼△素敵に 誇張した形容をして居るが、漢拏山の密林帶に入つて所謂狐の如き、大鹿の如き、牛馬が人の姿を發見するや否や千蒙を拂つて蓬々たる叢中を飛び去る姿を見たならば誰しも一驚を喫せざるを得ない

◇獰猛な山牛

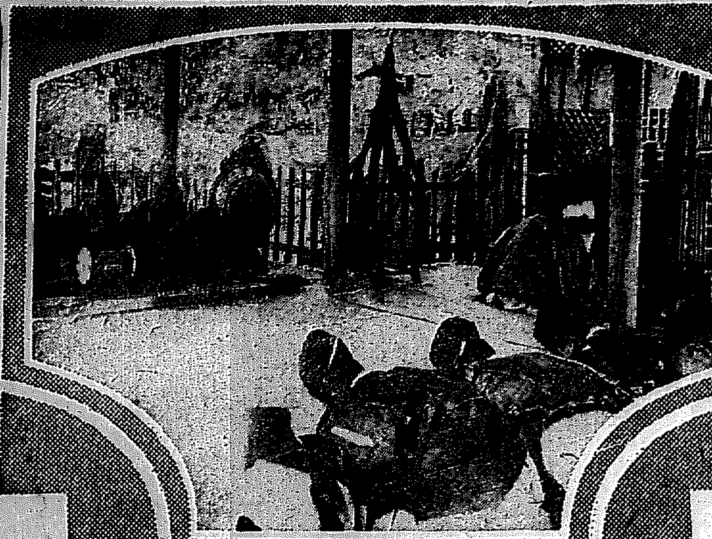
就中山牛と稱ふ純粹の野生の牛は濟州島産の先祖で、其昔元から移植した蒙古牛の子孫であるが常に山岳密林中に棲息して居る事とて體質は强健であるが、身長三尺乃至に達するものなく性質は

▼△獰猛で 馴致するに困難であるから島民中竊かに之を捕へて食用に供するものがある、而し已にいのは飼養者が耕作や牧獲を終へて山野に放して置くと、中には斃死するものがあるが、牝の中には牛馬と交接して子を孕み、次の農耕季には獨付きで歸つて來て飼主を喜ばせる事などがある、飼主は何の手數も要せず財産を殖して行くわけである

◇狩る者は嚴罰

以上の如く濟州島に於ける牛馬の放牧の状況は極めて原始的で、極めて呑氣なものであるが年々凍死するものは尠くなく殊に昨年の如きは旱魃の後があの永雨であつたから牧草の成育惡く從つて牛馬は極度の營養不良に陷つて居る處へ今年の

▼△凛烈な 寒氣に見舞れたのであるから斯くは多數の凍死牛馬を出したのでおらう島廳では年々多數の斃死を出すため之が善後策に苦心する一方濫りに獵殺する者は嚴罰に處して繁殖を計つて居るが何分にも人口が増加する一方であるからだん〳〵牛馬の數は減じて行く(終り)



◇京城神社の祈年祭 中央に鎭坐せるは祭主谷村社家、後ろに拜せるは神官伶人及び氏子總代

阿片煙賭賄事件

犯罪者三百五十名

咸鏡北道茂山郡の奥地延社面憲兵駐在所補助員す六名は地方人より賄賂を受けて阿片煙の密造を默認せし廉に依り客年末茂山の軍法會議に廻され何れも其筋にては一方賄賂者の檢擧に努めし結果三百五十餘名の多數に達し右賄賂金額は二千圓の巨額に達し犯罪者は目下清津檢事局にて取調中なり(清津特電)

解雇されて悪事

買付帳を僞造して

愛媛縣生れ當時住所不定三浦義武(二三)と云ふ者は昨年十月平壌大和町文房具商川据商店方に雇はれたるも常に素行面白からず店務を怠り勝なるより去る三日解雇め、主命を受けたるを不滿に思ひ行がけの駄賃にと圖太くも同店の商品萬年筆四本外十四點(時價四十五圓)を窃取し尚之にて飽足らず帳簿一冊に同店印鑑を押捺し買物帳を僞造せし上翌二日僞造買物帳を携へ川据商店に在るものゝ如く裝ひ同町丸京呉服店に至り条紬二反(時價二十九圓)を詐取し以前より馴染の旗町遊廓萬龜樓抱娼妓若梅に耽溺し全部を費消し去る八日平壌よりの歸途飛て網を張り居たる寺田刑事に捕へられ留致取調中尚ほ其以前驅用時計店方に於き田舍の得意先より依賴を受けたりと詐り彫刻付女指輪一本(時價十圓)を騙取し松下質店へ七圓にて入質し費消せる事も自白に及びたれば目下何餘罪ある見込みにて取調中

汕頭大激震

慘状言語に絶す

香港廣東地方被害亦た多大

在留邦人二百名は無事ならん

香港發電十三日汕頭を中心とする大激震は香港、廣東各地潮汕鐵道一帶に甚大なる被害を及ぼし厦門、福州にも激震あり汕頭方面の慘状は言語に絶し約一千名の死傷者を生じたる見込みなるが殊に同城内の慘状甚だしく建物の如き其大半は倒壞したるものと認めらる、スタンダード會社、帝國領事館等損害を蒙らざるものなきも領事館、臺灣銀行は割合に其程度少なく在留邦人二百名の生命は多分無事ならん汕頭港口に横はるダブルアイランド、カクチー島にも激震あり多數支那人の死傷者を出したるが同潮汕鐵道は崩壞不通となり潮州城内にも被害ありたり(大阪特電)

微動計に感動せる汕頭激震

大激震であると推定された

仁川觀測所 伊藤技手談

汕頭今回の震災に就ては如何に激甚であり且つ慘澹たるものなるかは想像するに難くない本所の微動計に感動したる

◆最大激震の外 何ほ二回の餘震を感受せるに見ても之を推想する事が出來る元來遠距離に於ける地震に際して俗に搖り戻しと稱する餘震を感受する事は稀で遠距離二千キロに達する今回の震災に就て何ほ此の搖り戻しを感動せるは如何に其の程度の激甚なりしかは斷定するに難くない十三日午後三時十一分一秒の初震から四時三十五分迄の震動が終つて同五時頃に輕微の餘震を受け更らに翌午前三時頃即ち十時間にあを經過して二回目の餘震を感受して居る

◆震源地に於ては此の餘震にも何ほ家屋倒壞する程の激震なりし事を知る事が出來る之を以て見れば同地の震害は單に一回に止まらず數回の强震に依つて更に慘害の度を増して居ると見ねばならぬ地震の種類に到つては勿論現在の設備では觀測不可能であるが多くの場合地震は地層の軟弱或は岩層の陷落等に依り起るものなるが故に

◆陷落か然らずんば地にと見て差支へない由來南洋方面に於ける瓜哇スマトラ印度方面は地震頻出の地で蘇灣方面に於ても强度の地震は決して珍らしくない唯多くは海中に起る現象たるが爲め災害を免かれて世人の注意を引かざりしに過ぎない個々今回の震災は陸地に發生したる爲め此の慘害を來したるものである當所に殘る記錄に就て見る

◆遠地震動の感 震は一箇年四十乃至五十回に及び地球上に現はるゝ地震の數は實に無數と云つて差支へないが陸地の震災は其内僅かに三割位ゐに過ぎぬ、地震の適確な觀測は至極容易ならざる事で朝鮮の如く僅かに當所に二基の地震計を有する位ゐでは完全なる測定を爲する事が出來ず從て遠地々震に就て確然たる斷案を下す事の出來ぬのは遺憾である

◉仁川神社新年祭 仁川神社にては十七日午前十一時より祈年大祭を執行定刻齋主以下社殿に出で仁川府尹隨員に御幣物を捧持せしめて參進氏子總代其他官民の參拜あり修祓式を爲して府尹以下玉串禮拜あり正午崇嚴裡に閉式せり

◉老婆兒を産む 慶北醴泉郡醴泉面西面花見里十統八戸飲食店朴基元の妻某は本年六十五歳の老婆ながら臍膩二十一日を越ね若き

日曜漫畫

氷すべり 助太郎畫

日曜さへ有れば東大門外の芹田へ、スケート練習に出掛けてゐた凸君友達の連中はずん〳〵上達して行くのに獨らず自分だけが元の儘で齒返りや横轉で前頭部、後頭部に數個の瘤が殖ねてゆくばかり凸君大に憤慨して吾輩一流の御手並を見よと計り其翌日は棒の端に鐵の大きいのを括りつけて鐵力製の土耳古帽を載き早速現場に駈けつけた

連日の侮蔑に對して不平滿々たる凸君此一擧に雪辱せずんばあるべからずと連中の競爭に參加した一二三でスタートを切るや否や凸君早速用意の棒を前に出したら、磁石の効力神の如く鐵力製の土耳古帽といはずスケートの金具洋服の金ボタン迄吸ひつけるので凸君の勢は自ら一瀉千里の勢で進行を初めた友達の連中はコレハ〳〵と徐々の驚きに逆轉横轉凸君の二の舞を演じた凸君一人萬々歳

記者の手帖から

▼春の昌慶苑

＝一日一萬人の見物＝入掛料は一何うする

春の花、秋の紅葉、これは四季を通じて最も好い行樂のシーズンである、桃の咲くにはまだ間もあるがボカ〳〵と暖かい昨今はもう冬の世界ではない、水も温めば

◉柳も芽ぐむ、所謂行樂のシーズンは近いた、郊外も賑ふ手近い處では昌慶苑が繁昌する係の人の話しによると『昌慶苑の見物も時候によつて非常な消長があるもので、一番賑ふのは何んと云つても春と秋だ』さうな、試みに

◉昨年中の入場者を月別(一日平均)にして示すと

一月 百十四人▲二月 二百五十三人▲三月 七百十八人▲四月 二千百五十四人▲五月 一千四百七十六人▲六月 五百七十六人▲七月 二百七十七人▲八月 四百六十二人▲九月 六百四十三人▲十月 五百四十一人▲十一月 三百二十三人▲十二月 百六十六人

で春と秋では春が多く春の中でも

◉陽春四月 櫻の盛りが一番多い、これと反對に少ないのは冬の寒い間であるが、更に昨年中最も見物の少なかつた日は七月十一日で、この日は僅かに九人、又最も多かつた日は四月二十二日の一萬二千八百十三人である、この日は恰度日曜で

◉櫻の滿開 だつたさうだ自然が如何に人事を司配して居るか更に人間が如何に遊び好きであるかゞこれでも判る、以上の數字だけ見ると昌慶苑も隨分儲かりさうであるが、これから揚る入場料だけでは動物の餌代にも足らぬといふ事だ。

▲お經の轉讀にヘビしをかけた樣に紙幣を勘定して居る銀行の出納掛の敏感な指頭が何百枚かの内に混入して居る頭の惡い贋造物に觸れると直ぐ『頭腦にソレと直覺を與へる程鋭敏なものだそうな▲近頃朝鮮銀行で發見された小額紙幣は可なり精巧に出來て居て素人目では區別が出來ぬ位だがそれが出納掛の手に掛つたら最後スグ化の皮は剝げる▲猶それでも疑はしいものは銀行にある眼鏡で檢査する此の照魔鏡で眠まれたら如何に精巧に出來たものでも眞贋は瞭々たるものださうな▲例の瑞典官が帰ネアンダー氏は今以て朝鮮ホテルの一室に籠城し病氣と云つて食堂にさへ顏を見せない▲昨日(十六日)から食堂にも出ると云つて居たが未だにそんな氣配も無いさうだが知らぬ他國の旅空で周圍の人々が自分に對して如何考へて居るのかわからぬのでその胸を痛めて居る樣子が氣の毒な位ださうだ▲さて問題のトランクは什うなるか瑞典公使は證明したのは箱だと云つて居る然らばトランクは開かれるか、どうせ開かねばならぬ▲然し猶外務省の訓電に依り事件進行中に就き數日の命脈が保留されてある筈である果して什う云ふ解決を見るか?

乳母至急入用

身體强壯にして血統正しく性質温良ならず年齡卅歳前後左京仁川に居住する者希望者は左記へ來談ありたし

仁川本町 奥田

安全確實に儲かる

三百圓で千圓内外の利益

＝此の方法を會社が之を說明する＝

▽疑ひ深い人は儲からぬ△

「銀行や郵便局へ金を預けて置く位なら勸業債券を買つた方が好い、年五分の利子が取れて其上に籤が引ける」と云ふので近頃大分勸業債券を買ふことが流行してゐる、處が籤きは却々當るものではないから其中には「ナンダ馬鹿々々しい」と云ふ氣になつて

◆兩替屋 なぞへ持つて行つて賣買にして了ふ人が隨分ある、これは甚だツマラぬ話である、同じ債券を買ふとしても、籤にならぬ樣な事で損を爲ないで大に儲かる方法がある、其方法は何かと云ふと、先づ籤の濟んだばかりの債券を搜して買ふ、籤の濟んだばかりの債券は市價が低落して、時には才圓券が九十何圓と云ふ安値で買へるそれを二四個月も持つて居ると

◆抽籤期 が來る、すると十圓券が十二圓位迄も昂騰することがある、それでも買手が澤山あるから、其時前に買つて置いたものを賣れば、一枚に付二圓内外の利益、十枚なら廿圓、百枚なら二百圓儲かる譯である、確な事を當にするより方が餘程よい、併し實を云へば勸業債券なぞでは未だ〳〵儲けが少い、確な銀行會社の株券を買ひ、少しく頭を働かせて行の方法を應用すれば自分ながら驚く程の利益が得られる、勸業債券では一枚に付高々二位の利益に過ぎないが、株券だと安い時に買へば

◆一株で 百圓も二百圓も儲かる、一例を擧ければ日本郵船株式會社と云へば子供でも知つて居る日本一の大會社である、前期は七割の利配當をして居るが、この會社の新株は去る十月廿五日の値段が百八十一圓であつた、其時買つて置くと僅か十日後の十一月五日には値が上つて二百七十三圓五十錢になつたのだから、其時に賣れば差引一株に付九十二圓五十錢、十株で九百二十五圓の利益が得られたのである、たつた

◆十日間 に僅十株で千圓近い利益が有つたことは實に驚くべき事實ではないか、若し又賣らずに持つてゐても會社から年二回五割七分と云ふ莫大の利益配當が來る、此の如く郵船新株券を買つて儲けるには千八百圓の資金が必要で、それ丈の金が無ければ出來ないやうに思はれるが、此處にそれだけの金が無くとも、一株卅圓十株三百圓の手付金を出せば同株十株を買占めて置くことが出來たのだ、そして十一月五日に賣れば矢張り前と同じ九百二十五圓の利益を得られるのである

◆三百圓 の資金で僅か十日間に九百廿五圓の利益、何んと驚くべき!こんな面白い金儲けは株券の賣買以外には無いと云つても宜からう、上はホンの一例に過ぎぬが、其他の會社の株券なら如何なる株であつても、大抵一株四五圓から廿圓内外の手附金で買つて置けるのだから、少し

◆上手た 買ひさへすれば僅の資本で前例よりもやつと〳〵利益が得られる、何ぞと云つても戰のお蔭で我國には神武天皇以來見た事もない十何億と云ふ金が入つたのみならず今後も毎月何千万圓と云ふ金が定つたやうに入つて來るのだから大勢上株券はまだ〳〵値が出る、その株券も高い時に買つたのでは利益が少いが、今日のやうに安くなつた時に買つて置けば必ず利益がある、儲けるのは今である、現に昨年末來

◆本社を 信じ本社の會員になつて株券を買つた方々の中には隨分儲けた人が澤山あつて、その狀は積んで山をなす盛況である、若し疑ふ人あらば本社へ來て實見すれば分ることである、但し株券を買ふにも確實なもの、儲けの多いものを選ばねばならぬ、されば何んな株券を買つたらよいか、買ふ手續きはドウするものか、又手附金で買ふ方法はドウか、夫等の事は總て誰にも分るやうに詳しく本社發行の趣意書に書いてある、入會希望の方は先づ

◆ハガキ で東京市神田區一ツ橋通町八株式會社高强世界社へ「有價證券研究會規則送れ」と申込まれよ直ちに內容のよく分る印刷物を無代で進呈する(小石宮殿世界社長)

生徒募集

本年四月入學セシムベキ第一學年生徒約五拾名ヲ募集ス詳細ハ一月二十五日以降ノ朝鮮總督府官報又ハ本分教室ニ就キ承合スベシ

大正七年二月

京城中學校 大田分教室

書籍販賣員募集

各縣下に一名の支部長と若干の賣員を募る自筆の履歴書に經驗ある者は添附有する者は見本送る但見本無代にて支給

東京市麻布區谷町 電話芝五六一七

帝國史書研究會

看護婦募集

規則書御申越次第送る 京城より當地迄旅費支給す

大連市西公園町三六 電話三〇八

遼東看護婦會

支那料理

陰暦正月に付き臨時休業罷在候處愈々拾六日より從前の通り營業仕候間何卒相不變御引立御願の程奉願上候

京城太平通二丁目 麗華園 電話一四四二番

支那料理 京城觀水洞 大觀園 電話六三三番

質 京城明治町二丁目(元臨時) 大塚質店 電話一八四九

◎◎戰慄すべき火災の豫防に完全なる藏あり

◎◎多額の融通

子宮病血の道と神痲湯

リウマチスに惱む人は

本劑は せんき リウマチス 神經痛 子宮 血の道 ヒステリー 慢性胃腸に 能く効を奏す

神痲湯

彼是と迷ふ無く

最も能効く良藥神痲湯を試よ現に百方手を盡くも効なき難症の血の道や、多年不治のヒステリーや、多年頑固の子宮病を始め因疾の病氣リウマチス神經痛の方々が神痲湯の效驗で漸次快方に赴き遂には不思議な全快の喜びを得ても一般の人々に供す…

人あらば輕症にして今や全國各地の藥店にあり

こんな徴候 腕、肩、手、足、腰、膝等に…

本舖 名古屋市東區京町三丁目 荒川長太郎 電話 振替口座 東京 大阪

開通せる四鄭鐵道（上）

◇同鐵道技師長藤根壽吉氏談◇

△四鄭鐵道 は滿鐵本線大連起點三百六十六哩四平街驛を起點とし此間五十五哩鄭家屯に至る標準軌道の一線道にして昨年七月起工實施に着手以來茲に一年有半而して今春四月土工其他工事の開始期より起算せば僅々八箇月にして全線五十五哩の線路敷設を了し大正民國六年十一月三十日を以て蒙古の門戸たる鄭家屯に汽笛一聲を上げ得たるは日支兩國共に快事とする所であり一般工事報告の如きは更に諸設備完整の後一括之を發表する事とし今は只線路の概況を記述し以て日支協約滿蒙五鐵道の魁たる當鐵道の一般を江湖に紹介するを光榮とす

△軌道 軌間四呎八吋半にして軌條は民國鐵道案定軌條八十五磅漢陽製鐵所製の重軌條を用ひ軌枕は長八呎六吋幅最少九吋厚六吋とし主として北滿産紅松材を用ひ毎三十三呎軌條に十四挺宛とす又『バラスト』は當分切込砂利を用ひ軌條上面より一呎厚に鋪撒す轉轍器及び轍叉は主要なるもの十二番其他八番を用ゆ

△土工 道床幅員十八呎とし盛土切土共に法勾配は適土砂の割合一割五分とす

△橋工 全線僅かに十二呎及び十五呎の木製假橋工とし其最も長大なるもの遼河橋梁全長二千百二十八呎なるものあり所要木材は杭木は全部鴨緑江材桁は北滿産出の紅松とし角材は吉林及び北滿産出の紅松とす四平街以内建築材料皆無にして一粒の砂礫も尚之れを四平街方面より仰がざるべからず依つて永久橋梁の新工は先以て假木橋を以て全線の開通を速成し營業開始の後徐ろに必要を逐うて之れが改築施工をなすを最善の方法とす

△停車場 四平街以外八面城、傅家屯、三江口、鄭家屯の四驛とし其の間隔十七哩餘に及ぶものあり他日必要に應じ更に中間驛を増設するの計畫なり各驛待避側線本線とし其の規を一にし停車場諸設備は驛舍其他保安の施設に重きを置き驛舍其他の設備は極力簡易を旨とし若し其の餘力あらば以て尺寸と雖も線路の延長を企圖するの方針を採り中間驛の如きは民家を補修し驛舍に宛て至る何驛に掲札を附せるものあり

●マント泥棒

…を賣び取り左側の山中に…げ捨て置し所を顧から『御を知』…昭岡生れ當…本條夫と偽名して十五圓を入質し又兵衛山町金融組合の勝手口に掛けありたるマント一枚價格十圓のも…

●連絡船上陸客

十六日午後入港さくら丸上陸一二等客…前入港…丸上陸一二等客…外二名…二等（三十三名）…

●一月末戸口（平壤）

◇内地人一萬一千九百に上る

府廳民籍係調査によれば本年一月末現在の平壤府戸口は内地人三千二百六十八戸、男六千三百五十七人、女五千六百二十八人計一萬一千九百八十五人、朝鮮人…戸、男…人、女…人、外國人…計…人なり

今大正六年十二月末現在に對照すれば内地人は一月中に於て戸數六十二、人口三百六十八の増加を示せるが所謂結氷季節中にも拘らず斯く多數の増加を見るは蓋し異數とすべく之れ昨年の好景氣に刺戟され本年に於ける多發展振りを豫言するの前提とも云ふべく外國人戸口は昨年十二月末調査で何等の異動なく據置きの體なるが道にあるに徴し頗る疑問に耐へざれど年來支那人多數來住せるの事實あるに未だ居住を屆出ざるにも依るならん尚府内に於ける戸數二百以上の町名を擧ぐれば左の如し

竹園町　一〇八　櫻町　四四五戸　大和町　二〇三

七百枚）豆油百斤二圓〇三錢（一萬五千斤）なり

▼第二借款成立

二月八日北京に於て第二借款二百六十萬圓契約成立調印を了せるが是れ同鐵道第一の難事たる三江口遼河假木橋を改築して本架橋となす事及び三江口鄭家屯間修理工事其他に使用するものなる由

但し大洋率貸金七百元貨物收入五百元に及ぶの鐵道としては餘り見ないべき現下日々の乗客五百人のたるべし

▼沿線物資

四平街鄭家屯間に於ける物資の重なるものは農産にして約十萬噸内四萬噸は地方に消費さるゝものと見做すも尚六萬噸の輸出あり其殘分は鄭家屯より遼河の舟楫の便をかりて營口に運送されつゝありしものなるが該水運は結氷期間、運送日數の不確實さ日子を要する事多く且つ秋收の物を翌年解氷を待つて運送せしむる事の如何に不經濟にして商機を誤る事の大なる點より打算する時は遼河水運の如きは問題とならざるものなれば現在に於て約六萬噸内外の物資は此鐵道に由つて滿鐵線に接續すべし

▼鮮銀出張所

四鄭線の開通と相俟つて朝鮮銀行出張所の新設は一般の金融を圓熟ならしむる爲めにして目下鄭家屯北大路に地を卜し家屋改築に着手し出張所長として岸本徳三郎氏以下行員赴任し開行準備中にして本月末迄に營業開始する事となるべし

▼滿蒙開發

蒙古貿易の中心たりし鄭家屯は從來狡猾なる支那商人の手に由つて朴訥なる蒙古人を翻弄し不義の利益を占めつゝありしが四鄭鐵路の開發と鮮銀出張所開設は大に鄭家屯を社會に紹介し同地を開發する機となり延いて洮南伯音太拉を扶け廣漠なる沃野は歳を追うて開拓せられ無限の豊庫は今や開発人の來り獲得するを俟ちつゝある時期に到着しつゝあれば今春解氷を待つて起業家…

●春川神社創立（春川）

春川は去る大正二年頃に當地在住者相謀り鳳儀山の麓に祠を建て天照大神を奉祀し毎年春秋季祭典を行ひせしが大正四年八月神社寺院規則發布せらるゝや該神社は神社たる資格消滅せしを以て該規則に依り當地に神社を建設して天照皇大神、明治天皇を奉祀し以て民心の歸一に敬神思想を涵養せしめんとし道當局に於ても之を誘導し來り一般官民に於て大に之を賛し本月七日當地在住者有志を道廳會議室に召集して要旨を協定し先づ一般の意向を探りたる後計畫案に付き評議決定せり其の内容を示せば敷地の整理建物の建築其他祭服設備等の總經費約四千圓を要する見込なるが此の支辨方法は有志の寄附に依るべく内地人側には學校組合費の十箇月分に相當する額即ち二千四百圓を賦課する事とし朝鮮人側には官公吏員の月收白分の一宛十箇月分三百圓と郡内有志者側七百圓と道内有志側三百圓等にて經營するとの事なるが今日迄内地人側有志より寄附を申し出でたるもの既に豫定額以上に達せしとの事なれば當該神社の造營期は本年四月著手同七月竣功せしむるの豫定也と（春川）

家は盛んに滿蒙開發の商戰を…せらるゝもの多からんと期待…（十三日）

●四平街より

▼四鄭鐵路局 大正二年十月五日日支兩國間に成立締結したる滿蒙五鐵道の一たる四平街より鄭家屯に達する五五哩鐵道布設に要する借款五百萬圓は大正四年十二月五日成立す支那交通部手取は時價換算利息先取等の爲め僅かに三百五十萬圓なりしと云ふ線路實測は五年七月より開始す同本局及び附屬宅は直に四平街に建設し五年十二月大略竣工す線路工事は六年四月著手同年十月三十一日鄭家屯に達す而して一般貨客の便宜上建築列車に貨客車を聯結し七年一月十一日假營業を開始したるが其成績頗る良好なるは僅かに五十五哩…

●奉天の穀物相場と出廻高

本年一月中に於ける奉天市場の特産物出廻高は合計十一萬八百六十石にして其の中主なるものを擧ぐれば左の如し

品名	相場（圓）	出廻（石）
大豆	一二五	三、四〇〇
高粱	一〇六	五、五五〇
包米	一〇四	四、三五〇
小麥	一七〇	五、五一〇
白小豆	一三二	二、三二五
紅小豆	一二九	六九〇
花小子	一一〇	二九五
小米	一五二	一、一一五
粳豆	一一九	一、三一〇
合	一一九	四、五六〇
芝麻	三二九	三、八八五

等にしてまた豆粕一枚の相場は平均一圓三十六錢（製産高一萬一千…）

●最近の哈爾賓 外面丈けは平穩

支那兵の入哈に伴つて過激派の跡を絶つた哈爾賓目下の狀態は從前の如く強盜の横行するやうな事はなく平穩に歸して居るやうではあるが何時彼等の爲に逆襲されるかも知れないと云ふので各自に警戒を怠るなく支那兵もまだ三千人程出して居るやうな譯で平穩と云つても表面丈けであつて强盜の出沒を耳にしないのみで商賣などは日毎に衰へる許り相場の上本國方面からの金融杜絶等の爲め圓滑に行はれざるのみならず哈爾賓滿洲里等の運轉連絡は非常に不便なるに如何ともする事は出來ないけれ共露國の他の方面に比べたなら秩序が維持さるゝやうで哈爾賓の前途に尚西伯利亞に逃れば身に迫る危險は勿論秩序も何もない異常な魔界であると云ふことは彼地から歸つて來る人の常に云ふ所である西伯利亞方面は此の寒氣に連れて食糧品及び日用品の缺乏は最も甚しいやうで四箇月ばかり前からは各地方有志を以て哈爾賓及び西伯利亞方面に於ける哈爾賓及び西伯利亞に驅集した日用品を買込みに來て居るやうで一時入十萬留位の買出をする組合もあるやうである從來の方法は圓滑に行はれて居ないから持つて來た錢が無くなれば何うしても致し方がないばかりでなく集めた物品を危險を犯して居るやうに送るにも非常の苦心と危險を犯して居るやうである我々外國人は假令組合員の取引であつても決して掛賣り等はしない事にして總て現金賣買を遵守して居るがそれでも日毎に殆る…

船頭連の氣分を同じで儲けた錢は所謂船底一枚の下は地獄と云つた所から遣ふかも知れないと云ふ所である、何時命に係る危險の淵へ逃れも、中々繁昌して居るやうで相場は兎が一足八十留位である一般に高く商賣して居る目下の相場としては必ずしも高いとは云へないのだから日々の相場よりも少し高い相場標準にして危險を犯して遣るのだ…皆酒色に使つて居る者の多いから、ではないかと思ふ

●滯貨十二萬噸

長春驛貨物掛に於ては目下原糧を出廻り時期とて發送額よりは發送貨物大部に當み先日より一列車の増發をなし居るも一車一般專用線共に滯貨の増加を見るのみにて既に其滯貨は約十二萬噸に上りたるが現今の狀態にては現在滯貨を發送なすは來月中旬迄ならでは不可能なるべく夫れに反して到滯貨物は頗る少額にして昨年に比すれば約四割減の模樣にて原因は矢張り奧地輸出不振に起因なすもの多き故に最も憂ふべきは露人等の放言にて平和克復後は日本製の粗品なるは價格の如何に拘はらず排斥せざるべしと言明し居る對取引にして彼等の間に本邦品の粗製を確認さしめし傾きあり秩序恢復後に至るも再び戰時中の如く輸入貨物の激増は見受くる事能はざるべしと

●伐木の搬出難

鴨緑江上流森林本年度伐木狀況を聞くに本年に入りて氣候温暖の爲め降雪少なき爲の運用困難なるを以て搬出量多からず加ふるに奧地森林地方は土匪馬賊等の横行甚しく殊に彼等仲間に於て採木公…

●内鮮同化は徐うして進む

今はもう内地人が鮮語を使ひ鮮人が勉めて國語を使ふと云ふ時節になつて居る、人種逆轉の奇現象は到る處に之を見る、鮮人の店頭に立つて内地人のお神サン知つたか振りで出る主人は怪しい國語で五錢ですと來る、然し立派な國語で何處に行つても見せない事は何處に行つても見る

◆國語を使ふ そして鮮人が國語で内地人が鮮語を以て交際ひたがる鮮人は内地人は殊更らに鮮人を捕へて内地人と會つたら必ず鮮語を使ひたがる鮮人は之の交換をやる奇態な現象が不思議に多く目撃さるゝ様になつた

仁川で國語を解する鮮人五千人之れ人種の逆轉でなくて或る意味から云ふと内鮮同化の道程であるかも知れぬ、ヨボイルワーと呼んで居る傍らには何んですか—と云つて來る面白い狀態は朝鮮ならでは見られぬ處、然らば鮮人は何位ゐ國語を解する者があるかと調べて見ると、先づ仁川では

◆鮮人の 男女を併はして七百八十五人居る、そして會話の出來る程度の者は八百五十六人でこれを初歩と及び會話の出來る者の二樣に區別すると初歩者が二千歩一千四百六十人會話者百九十五人ある、宮川郡の部に屬する者に初めて…

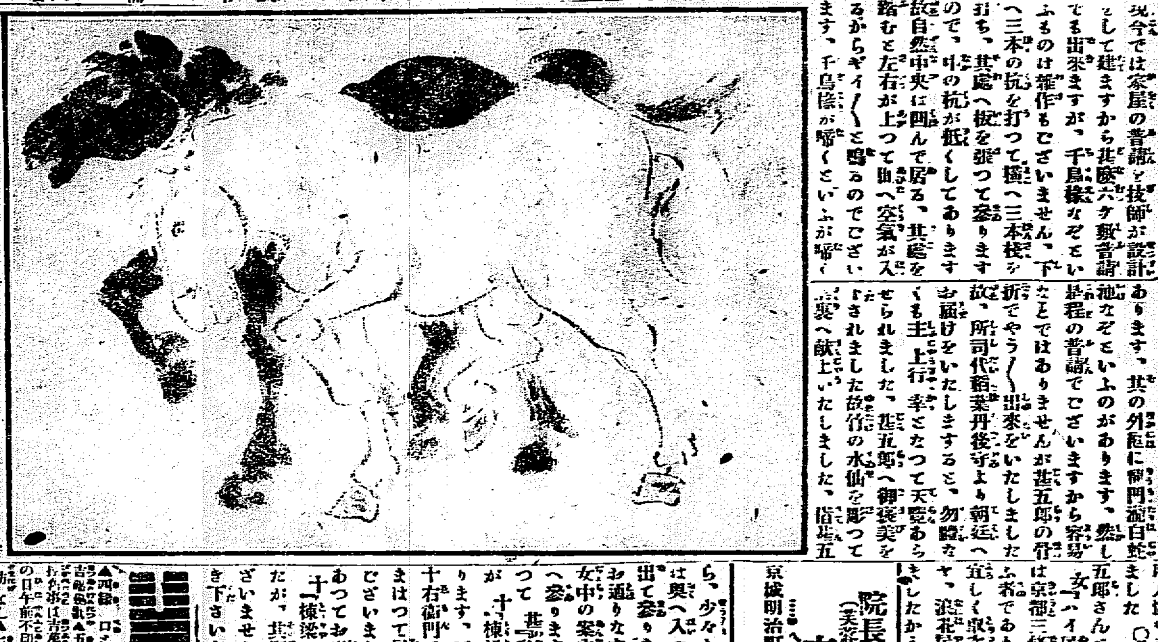
◆普及は 餘程の困難と云ふ位ゐの手合ひで内地人のヨイアブン、チョッソ程位ゐの處は到る處多くて當り前に接續詞でも使つて會話の一つも出來ようと云ふ連中になると到つて尠ない國語のはねばなるまい、何でも之を男女の別に擧げて見ると初歩の部は男が三千三百十二名女が九百三十三名會話の出來る連中で男が九百二十八名女で百二十四名合計稍國語を解し得る者四千二百四十五名會話の出來る者一千五十二人となる更らに今度内地人で鮮語の喋りかけると流暢なヨボ化語連中とを區別して調査してみたら面白いもの者が判るだらう（仁川）

白山黒水

▲大正六年に於ける我が對支貿易は輸出が一億二千一百萬圓、輸入に於て一億八千九百萬圓、差引一億七千七百萬圓の輸出超過となつた次第▲支那の中滿洲へ日本から輸出したのが四千二百萬圓、滿洲から輸入したのが一千三百六十萬圓となる▲支那の正月は毎日爆竹に銅鑼太鼓の鳴物入り▲奉天城内ではたしか昨年の此の時分に爆竹騷ぎに馬賊がピストルの爆竹までお祝ひしたので今年はポン〳〵ぶつはなすのを嚴禁とある▲それにお正月の支那人は何から何まで紅色づくし朝鮮の明りの地を掃へば黄金出づの類が紅い紙にベタ〳〵貼られたのが欲が深い▲しかしお正月からの金儲けばなしは何も支那人ばかりではあるまい▲夢にきつたものでもある日本人は何ちやにけちや宋を見ようといふ笑ふ寶船の御入來を見るといふ他人の他とかは臭いものぢやチ

●在監囚徒數

一月末日現在京城、西大門及び永登浦監獄の在監囚徒は總計三千九百八十六名に して内京城監獄一千六百十一名、西大門一千九百七十七名、永登浦三百九十八名なりと



…のではなく鳴のでございます、抑も金閣寺は鹿苑寺公經の山莊で足利三代將軍義滿公之を乞ふて金閣を築きございまして公經の子公種の時足利名附けました、池は衣笠山の麓から此の衣笠山といふのは昔或る大將が夏だといふに、雪の景色を見たいと仰せられた、乃で此の山へ衣を掛けて御覽に入れたと云ふ、名を根つて起を衣笠山と申したのでございます』一萬五千六百坪、寺院と號し、上中下の三層と分ち、下を法水院と號し、中層を潮音洞、上層を究竟頂といふ、天井壁畫欄は殘らず金箔、庭の池を鏡湖池と云ひ夕佳亭といふ亭がありまして、床は有名の萩の一枚板、柱は南天の大木、萩の枝を編で違ひ棚にして…

抑は御用を果して安心をいたし毎日山城屋を出て京地を見物をして居りましたが、一日鞍馬山へ登つて來ると麓の方から黒白二頭の馬を牽て大勢の役人が附添つて登つて來る、甚五郎は道の傍へ平伏をいたして其の前を牽て行く馬を見ると如何にも見事な馬、甚五郎は役人が行き過ぎると後から尾いて來て甚『お役人樣に鳥渡伺ひます、が役『何だ』甚『此の御馬は何れへ御牽きになります』役『所司代稻葉丹後守よりお寺へ納める御馬である』甚『何…[illegible]…御馬でございますな』役『黒…東將軍家の御乘馬であつて白い方を初雪と云ひ、黒きを小櫻といふ』甚『甚だ恐入りますが此の御馬を寫生をいたして宜しうございますか

左甚五郎

第百七十一席

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

現今では家屋の普請を技師が設計として建ますから其處六ヶ敷普請でも出來ますが、千鳥様なぞといふものは雜作もございません、下へ三本の杭を打つて横へ三本棧を打ち、其處へ板を張つて參ります、中の杭が低くしてあります、のて、自然中央は凹んで居る、其處を踏むと左右が上つて中へ空氣が入るからギイ〳〵と鳴るのでございます、千鳥張と申ふが嘯く

ありますが、其の外庭に御門狐白蛇なぞといふのがありますが、然し普請なぞといふのがございますから容易に甚五郎の骨折る程の普請でございませんが甚五郎の骨折る程の普請ではありません、お屆けをいたしますると、勿體ない、所司代稻葉丹後守より朝廷へお禮でやう〳〵出來をいたしましたお届けをいたしますると、勿體なくも主上行幸されて天覽あらせられまして、甚五郎へ御褒美を下されました、故竹の水仙を彫つて禁裏へ献上いたしました、皆甚五

役『差支へは無いから早く遣んなさい』甚『有難うございます』と筆を執て寫生いたしました、是が後に役に立ちましたが、甚五郎は鞍馬へ參詣を濟して旅宿へ戻つて酒を飲んで居りまする處へ、年齡五十格好の人品の立派な人物が訪ねて參りました〇『御免なさい、此方に甚五郎さんといふ棟梁がお在ですか』女『ハイ居らつしやいます』〇『俺は京都三條の浪花屋十右衞門といふ者でありますが、何うか棟梁へ宜しく取次でおくんなさい』女『オヤ、浪花屋の旦那で居らつしやいましたか……只今然う申しますから

ら、少々お待ちなすつて』と女中は奧へ入つたが、間もなく此處へ出て參りまして女『何うぞ此方へお通りなすつて』十『御免なさいよ』と女中の案内に從つて甚五郎の居間へ參りますと、甚五郎は蒲團を拂つて甚『私が甚五郎でございます』十『棟梁にはお初にお目にかゝります、三條通り呉服渡世浪花屋十右衞門でございます』甚『扨て承まはつて居ります浪花屋の旦那でございましたか然し何んぞ御用かあつてお出になりましたのですか』十『棟梁にお願ひがあつて出ましたが、其願ひと申すは他事ではございません、一と通り次第をお聞き下さいまし』と膝を進めまし

院長 醫學士 森定吉（美容整形院改め）森 内科 小兒科 病院 京城明治町二丁目七五 鶴田醫院跡 電話二六二三番

暦 二月十九日 九星 舊正月九日 丁酉 本命四緑 羅睺 危 先負 …

▲一白 …▲二黒 …▲三碧 吉相の日得旅行入學に…▲四緑 口さし心と運ふ事…▲五黄 …▲六白 …▲七赤 …▲八白 …▲九紫 …

演藝案内

京城本町 壽館 電話一〇五〇番 十三日より向ふ厄拂ひの爲め興行十日より十四日の爲め御年賀旁々大入場料を以て御觀覽に供し特に入場料無料にて喜劇一座 第二日 ▲一番目 懸の者 ▲二番目 被害者 ▲三番目 笑ふ門に來る ▲四番目 文人 手

大正館 鐵の爪 謝罪 問題の怪寫眞 大活劇 大冒險 上場以來喝采湧が如く連日滿員の大盛況は一方ならぬ御愛顧に依るものと厚く御禮申上候昨夜の如きは館内外共非常の混雜を極め候爲不行屆の點も有之候段幾重にも謝罪仕候

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番 京阪落語若手一座 毎夜六時より開演 ▲一落語 笑三 ▲一落語 滑稽浪花節 音曲 ▲浪花節 ▲大切喜劇

有樂館 活動寫眞常設館 …

黄金館 電話二六二七 二六六八 …

大正館 …八三町 井…

桃谷研究試驗所創製

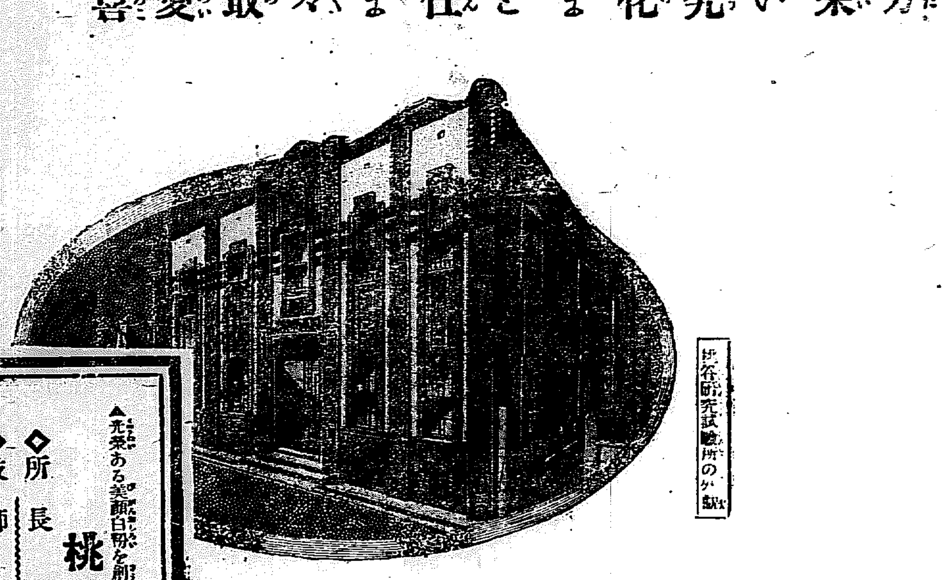
美顏白粉

名譽光榮

▲新化粧品の創製につき

最近復又……光榮ある御內意を拜す

本邦唯一の學術的完全白粉として、尊き御方々の御料にも召させ給ふ比類なき名譽と光榮とを有する、美顏白粉の創製所として名聲いよ〳〵高く、信用ます〳〵厚き我が桃谷研究試驗所に對して、最近復又或る筋より、新化粧料の創製につき有難き御內意を傳へられました。當試驗所は感激してこの名譽と光榮とを御受けしたのであります。それと共に責任の極めて重大なる事を深く感じたのであります。創製の御內意を蒙りました化粧品が何々であるかは機會を見て發表致しますが、取敢へずこの光榮を、美顏白粉及び美顏化粧料愛用の皆様にお傳へして、この大なる名譽と喜びとを共にし度いと存じます。



桃谷研究試驗所の外觀

▲光榮ある美顏白粉を創製したる

桃谷研究試驗所

◇所長 藥學士 桃谷幹次郎
◇技師 理學士 西澤勇志智
◇同 醫學士 米倉昌達
◇同 千葉藥學士 小磯勝次郎
◇同 同藥學士 齋藤銑助
◇顧問 藥學博士 丹波敬三氏
◇同 醫學博士 山本淳二氏

美顏化粧料發賣元

桃谷順天館

東京市日本橋區本町四丁目 (電話本局一六二六・一六二七・二三〇番)
東京府下□□町一丁目 電話新橋二六三九番 實驗傳
大阪市西區靭南通二丁目 (電話土佐堀六四七・六四八番)

京城日報
二月十八日朝刊 (朝夕刊併せて八頁)

[illegible]百二十[illegible]萬四千九十[illegible]に於て百八十[illegible]萬二千三百[illegible]額百二十四萬四百七十八噸其の價額六[illegible]萬にして其の價額七千八百十八萬三千五圓、豆粕に於て百五十萬六五千九萬二百八十圓に比し數量に於て六千三十圓に達し近年未曾有の千四百四十八噸、骨粉に於て四十於て三十一萬三千六百十八噸價額

大豆油粕 一六[illegible]
菜種油粕 [illegible]
棉實油粕 [illegible]

遊支偶錄

(二) 家族と世界

蘇峰生

支那は一國と云はんよりも、寧ろ一世界也。日本は一國と云はんよりも、寧ろ一家族也。其の一家族の間に行ふたる所を以て、直ちに之を一世界に行はんとす。其の失敗や當然のみ。

且つ夫れ日本は面の小狹と、人口の寡とのみならず、其の皇室や、開闢以來、否な寧ろ開闢以前よりの綱紀たり。萬世一系の皇統は、二十四朝革命の歷史を、混視す可らざる也。且つ德川氏三百年の封建政治は、全國に向て、中央集權の基礎を定め、擧國民に向て、中央集權の訓練を施せり。德川氏の末路、其の網紐工の元綱たる、將軍政治壞れたるに拘らず、却て之に代はる可き、より大なる皇室は、國民の當前に、發露し來れり。試みに支那に向て之を見よ。中央集權の基礎焉くにある乎、中央集權の訓練焉くにある乎。

若し支那歷史の、素通りだに做せば、支那は日本と如上の諸點に於て、何とからざるのみならず、寧ろ全く反對の位置に、立つものなるを知る可し。

唐虞三代以來、支那の明君賢主は、治めざるを以て、民を治めたり。地方分權抔とは、寧ろ名に於て過分也。其實は全然放任政治たりし也。百揆釐りたる、清朝さへも、一省の政治は、總督巡撫限りとし、一縣の政治は、知縣限りとなす。支那の政治の亂雜なるも、此が爲め也。而して其の亂雜ながらも、分裂なくして、兎も角も國土の統一を失はざりしも、此が爲め也。

四千年來、支那は國としても、中央集權の政治を施したることなく、民としても、中央集權の政治に服したることなし。斯る行掛に際して、如何に鐵道、電信の利用せらるゝ世の中となりたればとて、直ちに日本的中央集權の政治を、支那に斷行せんと欲す、其の不成功や、必然の數也、理也、勢也。

海外銀行の活動と朝鮮銀行 (七)

京都帝大に於て 美濃部總裁談

之を要するに朝鮮銀行は創立以來僅に八年を閲したるに過ぎず此間に帝國國運の興隆に作應して帝國の對外的勢力發展に付幾分の貢獻を爲し得たるを斷言し得るは吾輩の最も名譽とする所なり而かも以て共帝國海外銀行たるの使命に鑑みるとき將來爲す可き事尙極めて多く前途頗る遼遠なりと云はざるべからず朝鮮銀行は近く上海鄭家匝及び紐育に出張所を開設すべく今や其の準備中に在るのみならず今後更らに滿蒙、支那本部及び歐米各地に對し業務の擴張を圖り店舖の增設を必要とするの日遠きにあらざるべきは既に一言せる所なり是れ當行が大に門戸を開きて有爲の人材を歡迎せんとする所以なりとす朝鮮銀行は之を人生に譬へんか漸く

△青年期に入り

たるに過ぎず朝鮮銀行の活動は蓋し今後に期せざるべからず試に其の職員を觀んか何れも少壯有爲の士に富み其の高級行員は多く三十臺にして一千有餘の行員は何れも皆青春の元氣發溂たる靑年のみなりと云ふを得べし從うて行內は常に活氣橫溢し其の間毫も厭ふべき階級的弊害なく又專ら閥若くは情實なるもの絕對に之れなきを斷言す若し行員にして卓見あらんか其の地位の高下を論せず進んで之を開陳すべく苟くも言の取るべきものあらば其の人の如何は固より之を問はず是れ實に我行の特色にして吾輩の最も喜ぶ所なり今後も亦努めて此の行風を保存助長することに注意すべき覺悟なり是れ卽ち海外銀行たる朝鮮銀行の使用に適合するものと信ずるを以てなりとす當大學は帝國最高學府中に在りて比較的年所を閲せること少なく是れ亦

△學界に於ける

一靑年と稱すべきか是れ當大學の學風の自由清新にして其の學問研究に對しても常に時流を拔くものあるは吾輩の敬慕する所なり殊に當大學は夙に海外發展に多大の興味を有せられ之に關する研究を鼓吹せらるゝこと頗る熱心なるものあると聞く滿蒙地方に於ける本邦の經濟的發展は比較的多く關西地方の人士の活動に依るの現狀なり當大學に於て特に此の方面に研究を進めらるゝ所以の偶然にあらざるを知る本日茲に我國海外銀行の先驅者の一たるべき朝鮮銀行の實際に關し一場の談話を爲すを得たるは殊に吾輩の愉快とする所なり此の機會を與へられたる各位に對し謹んで深甚の謝意を表す(終り)

罌粟栽培阿片製造に就て (一)

慶尙北道農務課長 山崎強氏談

支那、昨今罌粟栽培阿片製造の有利を說き栽培許可願書を提出するもの續々生じ一人願出反別の如きも多きは一二町乃至五六町に達する有樣であるが果して栽培阿片の製造が價值あるや否や甚だ疑はしいのである、そして本道に於て傳へられてゐるのを聞けば反當數百圓の利益あり黃海道に昨年栽培の結果利益多く本年は本道に於て栽培を許可せらるゝ由今茲に罌粟の栽培方法及び阿片製造法の大要を述べ進で阿片專賣に關して出願者は勿論直接間接關係ある人士に告げようとするのである、罌粟は小亞細亞の原產で數百年前本邦に渡來し維新前後は一時盛況を呈したが明治初年阿片專賣法公布せられ『モルヒネ』含量所定の額に達せぬものは政府へ沒收せられた爲栽培者漸次減少し一時副產物の種子を取る目的のみに過ぎなかつたが其後當業者改良を計り政府は賠償率を增したので近時栽培者の增加を見るに至り阿片製造け復活されたのである、大阪府下三島郡地方には之れが栽培稍盛で阿片製造を目的として相當の利益を收めてゐる、當地方では畓の二毛作として麥、油菜の作付の代りに栽培するから比較的其の利益も多い、同郡地方では阿片百分中『モルヒネ』含量多きは二十四、五%平均十七、八%であるから賠償價格も阿片百匁に對し十五圓以上二十圓位であつて反當阿片量は三、四百匁乃至五、六百匁位である、から阿片丈の收入でも四五十圓以上で副產物である種子等まで加ふれば反當七八十圓乃至百圓以上の收益となり栽培に要する諸雜費を差引いても尙多きは七十圓平均五十圓の純益となつて麥、油菜等の二毛作に比すれば利益ははるかに多いのである、而して罌粟莖は綠肥として用ひられ紫雲英、其他の綠肥に比して肥效も少ない、卽ち罌粟莖の分析の結果は、窒素分一、五二%燐酸分〇、一二%加里分〇、七〇%の成績を示してゐる、反當罌粟莖量は二百貫以上四百貫を普通とし種子は香味を附する爲め廣く用ひられ一升四、五十錢の價、反當三、四斗の收量がある

▲氣候、土質 原產地は殆んど熱帶に屬するも人爲淘汰の結果溫帶地方にも適する事となつた、然し液汁採收期間高溫なれば收益非常に多く低溫なる時は反對に少い此の點から考察する時は朝鮮は夏期の栽培を行はねばならぬから或は適するかも知れぬが乾燥甚だしい結果生育困難の事と思はれる、土質は滲透性が內地では適地になつてゐるも割合に水分を要する植物であるから乾燥に過ぐる地は宜しくない、內地では砂質或は埴質壤土が概して『モルヒネ』含量多く粘重地は液汁は多い事を成でゐる

▲品種 三島種及び福井種は廣く知られてゐる、三島種に紅花、白花の別あつて白花には、早、中、晚の三亞品種がある、今各種の特性を擧ぐれば(一)白花早生種、莖の高さ四尺內外果實長形液汁稀薄、乾燥步合二分五厘乃至三分五厘見當、病害に罹り易し(二)白花中生種、莖大前者に比し果實大形液汁稍濃厚乾燥步合二分二厘乃至三分、(三)白花晚生種、莖大中生種より稍低く果實太く短くして角立つ、液汁採收の際比較的剃刀を深く入るゝも害少し十二三回も採收する事を得病害少し(四)紅花種、花色も鮮、生莖は白花種より長く液汁稀薄乾燥步合二分に達せず(五)福井種、印度より輸入改良せしもので三島種より十日以上早熟莖大にして低く果實小なるも堅く適切の害少く乾燥步合二分六厘乃至三分七厘十二、三回の採收に堪ふ

本紙定價 一ヶ月金六十五錢 三ヶ月金一圓八十錢 六ヶ月金三圓五十錢 一ヶ年金七圓 [illegible]
廣告料金 [illegible]
發行兼編輯人 奧川直[illegible] 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話番號 [illegible] 振替貯金口座京城二〇〇〇番

▲輸出額減少 [illegible]又肥料の輸[illegible]の實施の結果に依るものなり左に前年に對照表示し參考に供すべし

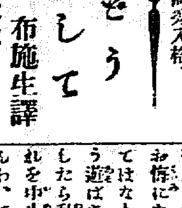
忘機吟壇

除夕 少霞 金日永
呵東青窓擁紫炎。看燈剩々但[illegible]。縱云歲色今宵盡。子美猶餘萬感愁。
許日 苦心怨調一讀動人、

遜 松 同
翠蓋重々覆畜城。四時不斷瑞雲生。于看枝與蟠桃接。上有金雞報曉聲。
許日 詞嚴思深。

新年雅會在黃州不得赴賦之寄復 松田學鷗
大雅宜振起。年新意氣遒。琴聲三白社。鶴唳碧山州。獨立要貽者。遙憐翰墨遊。何須說羈旅。詩筆耶千秋。
天岡日 前勝傑秀入格。

どうして



布施生譯 七十三

武烈氏は軈て徐に其手を瑠璃子の肩に懸けた、瑠璃子は颯と顏を赧らめて『貴郎』と一言云つたばかり千萬無量の思は其一言に籠つて餘あつた、武烈氏は思はず擁抱からうとしたが瑠璃子の樣子に氣がつくと俄に其手を引込めて『あゝそうだつた、此儘でお前を妻と喚ぶわけにはいかない、それより前に私がお前を眞實妻と認める事を宣言した上お前の寬赦を求めねばならぬ』。瑠璃子は周章てそれを遮り『いゝえ貴郎、貴郎が態々此處迄往らしつて下さつた丈で私はもう澤山でございます、從前お氣に入らない事がございましても—』。『氣に入らない？』武烈氏は言ふ內にも戀に攻められて『瑠璃子そりや何を言ふのだ、私はお前の夫で私はそれが嬉しいんだ、之からお前を自宅へ來て貰ふに就ては私は私の全身をお前に捧げる、此一年ばかりの苦で私はすつかり悟がついた、いや此一年間の經驗で私が結婚の日彼樣に無雜作に棄てたお前の價値がすつかり分つた』。と言ふ內に武烈氏は懊かしさに堪へ兼ねて瑠璃子の方に手を差伸し『瑠璃子、從前のお前の眞心の上に何卒もう一つ寬赦と云ふ事を加へては呉れないか、それで私は人間らしくもなれば何より望のお前の夫にもなれるのだが』。瑠璃子は此時迄餘念もなく夫の顏を見上てゐたが今此言葉を聞くと思はず嬉しさうに笑顏を見せた、然しまだ差伸した夫の手を取ろうとはしなかつた。瑠璃子は心配らしく『貴郎私の父や兄は御覧の通りでございますよ私はあの娘でございますが』。『いや其樣事はもう問題にはならない、今日は私が失つた妻を再び探し當てた嬉しい日だ、探しあてたからは好く來た好く來たと云ふより外何の言ふべき事も無いのだ』。瑠璃子は嬉しげに頭を下げて人には聞れぬ程の聲で『もうどんな事が有らうと私は之で滿足でございますわ』。言つたかと思ふと再び態と身を取直した。『貴郎、貴郎は立派な方で被在います。貴郎が立派な方で被在る事は貴郎の周圍がどんな物だと言ふ事に此半年の間お邸で匿れて暮して居りました私が一番よく存じて居ります。しかし貴郎が立派な方で被在る爲に貴郎が後になつて一生お悔になりますやうな事を遊ばしてはなりません、もしや是非共さう遊ばさうと云ふ思召でございましたら私無理からでもお願してそれを中止て戴かなければなりませんわ、でないとお情が却て仇になりますもの、貴郎只今私を心の底から妻にすると仰有て下さいましたわね、私を妻に遊ばすと云ふ事は如何云ふ事だか御存知で被在いましやうか』。『そりや知つてゐるともお前を妻にすれば私の心の痛が除かれるのぢや』。聞いて瑠璃子は額に苦痛の色を兒せて一足夫の側に摩寄つたが流石身を投懸ける程には躾を忘れず『いゝえ私を妻に遊ばすと云ふ事は立派なお家柄に疵がつくと云ふ事でございます、昔の事には口を塞いでなるたけ憶出さないやうにしてゐなければならないと云ふ事でございます、監獄の門が始終眼にちらついて未來の心配におち〳〵ともして居られないと云ふ事でございます、口止も要れば遠慮も要る、其上記憶を拐がれた家を作ると云ふ事でございます、夫は世間に面目なく妻は心配の絕間もない、小兒が出來ても其無邪氣な口からお祖父さんと言つても貰へず、言はれゝば兩親が赤面すると云ふ情ない事になるのでございます』。『瑠璃子其の心配にもう無用だ、父樣も兄樣ももうお前には心配を懸けぬと云ふ誓を立てられたのぢや、お前の胸には二方に對する心配が何時迄も消わないだらう、そりや親身だもの、しかしお前の其心配はもう宅迄は侵入してくる事は無い筈ぢや、お前があの父御の娘だと云ふ事はもう世間に知れつこはない、其心配が無い以上瑠璃子お前は私の處へ來て私に過去の罪を償はせて呉れないか』

●滿洲皮革合併 [illegible]株式合社が、本天に於ても同一の計畫現在の滿洲皮革に入るより[illegible]これを一會社に合併し[illegible]相方の便宜なるべく[illegible]公募する時は[illegible]

◉謹告

弊店儀今般朝鮮總督府營林廠大口取引ノ認可ヲ得同廠木材ノ販賣ヲ開始仕リ候間精々御引立冀上度此段謹告仕リ候也

朝鮮總督府營林廠大口取引店
合名會社 鈴木商店京城支店
京城本町二丁目九十二番地
電話長一三七番
電話長一四二番
電話長二二〇番
電話長二九四番
振替口座京城三九五一番
受信略號ケイゼウカネタツ
發信略號(タツ)又は(タ)ツ

日本百科大辭典購讀會員募集
(全部十卷)(第八卷迄旣成)
監修總裁 大隈侯爵・分擔執筆者 當代の碩學大家五百三名
萬有ノ智識整然トシテ玆ニ集リ古今東西ノ事物一トシテ網羅セラレザルハナク眞ニ世界的百科辭典ト稱シ得ベキハ獨リ本書ヲ以テ嚆矢トス本書ヲ一部備フレバ群小數百ノ圖書ヲ備フルヨリ其効果絕大ナルベシ
會員には第一卷より送本 會費拂込方法は月賦又は一時拂
入會規則寄丼內容見本は御申込次第進呈す
申込所 東京市牛込區新小川町二丁目四番地 日本百科大辭典普及會 電話番町三〇七五番 振替東京三五〇〇番
到る所の文具店にて目下發賣中 最寄の販賣店にて御用命の時は 大阪市東區平野町二丁目 スワン支社大阪出張所

當社有新發賣本品の眞價は既に社會に定評あり種々の名稱を冠したる類似品多し本品の軸部にはSWANの文字刻印押捺せり

△二月號發行 現代を知らんとする人の座右に缺く可らざる雜誌
集華時報
發行所 東京築地明石町三十一番地 集華社(振替貯金口座東京三一一八番)
支部 神戶市布引町一丁目五十七番地 集華社關西支部
內容のあらゆる問題事實は收めて此一卷に在り
定價 一部金三十五錢郵稅一錢五厘 前金壹圓八十錢一ヶ年金參圓五拾錢 郵稅無料
大賣捌 東京北隆館、東京堂、東海堂、良明堂、上田屋、至誠堂 大阪盛文館

生徒募集 仁川公立商業學校
第一學年生徒約百五拾名募集ス
入學出願期 三月二十六日マデ
入學試驗 四月四日、五日
詳細ハ二月一日ノ官報ヲ見ヨ

京日案內
▲本欄の廣告申込は中途なれば其の期間中の料金を前金にて申受く
▲本欄の廣告料は一行以上の時は特別割引す
▲廣告の原稿は必ず該當の前日午前中に差出さるべし

〈普通〉
●店員入用 京城吉野町 友田運送店 二十歲前後市內に保證人を要す(電話一一八二番) 395
▲子守至急入用 年齡十四、五歲 希望者は本人又は保護者と共に來談あれ 京城本町 日韓書房 394
日本人社員並支局長募集 月白貳迄本人來談履歷要 電話二七七二 京城吉野町一の一二七 魁新報支社 393
●官吏又は會社員向求貸家 [illegible]間數六、七間位閑靜なる處(構內十六番へ電話又は端書御一報を乞ふ
●金融 官吏商人大小口共極秘迅速 貸出及市內擔保貸 金町一ノ一九三 支那料理金谷園橫ホテル側 柏尾 391
●王金譲り渡したし 小設備の醫療器具藥品全部(姓名在社)390
●女雇入れたし 年齡二十五歲以上四十歲迄相當敎育及料理心掛ある者 仁川 小倉病院 380
〈番外〉
●店員募集 十八歲以上三十歲迄中學程度の敎育ある者數名入用 希望者は履歷書携帶本人來談 京城南大門驛前 電話一二二〇番 中村運送店 389
●乳母入用 京城電話九九一番へ 375
一、時計職人 一、時計見習 一、店員 十七、八歲迄 壹名 貳名 右希望者は至急申込まれたし 南滿洲鐵嶺 千金泰 石原洋行 387
車輪板ロクロー 雜木各種 板具用材 寶金町二丁目 本明雜木店 355
恩給年金立替 三年分迄無保證 京城若草町 金光教會裏手 電話二三三九一番 國江商會 326
鑛物各種分析 明治町二丁目 支那郵便局裏通 田部分析所 電話長二七七一 832
恩給年金立替 長期低利即金 公債株券現物賣買 一切引受 ▲擔保貸附 京城若草町百六番 西村商會 電話三〇一番 325
●勸業債券 六五●六十一 六七●三三 三七回お他店より特に高價買入 京城太平通一丁目拾參番地 電話二七九三番 朝鮮産業社

●米國輸出入制限令
十五日發布十六日より施行

米國輸出入制限令は十五日發布十六日より施行する事となりたる旨華盛頓大使館田中代理大使より公報ありたり(華盛頓電報)

●米國新制限令影響

米國大統領が米國輸出入全般に對る特許制度を設定する布告に關しては未だ詳細を知る能はざるも右は十六日を實施されしを以て今後は日本より米國に輸出する品物に對して米國各地にある戰時通商局の認可を要する事となり生絲羽二重等などの重要輸出品に對し如何なる程度迄の輸入禁止あるやは今後の布告に待つこともいたるべし今回の制限の主眼とするところは米國の一部商工業者の利益を犧牲にしても戰爭の經驗を得んとするにあるを以て是が爲めに日本貿易業者に與ふる影響は甚大なるべければ米國としても相當の決心を以て船腹の餘裕を輸出せんとの目的に出でたるものなれば容易に變更するが如き場合なかるべし(東京電話)

●獨逸宰相の意嚮

獨逸新聞紙に據れば露國最近の行動は獨逸をして非常なる不滿足と猜疑心を起さしめたるを論じ居れり獨逸宰相ヘルトリングは今後露國とは何等の交渉を爲さずと決心しペトログラードに派遣したる經濟委員をも召喚せんとの意嚮ありと(アムステルダム電報)

●露獨講和成立難

伯林よりの報道によれば露獨講和成立の報に接し國民は歡喜の意を表しつゝあり但し新聞紙は國民と歡びを分たず唯だ今後露國との交渉が獨逸に取りて種々困難なるべきを論じ居れり(アムステルダム電報)

●最後通牒の否認

伯林よりの報道に依れば獨逸が羅馬尼亞軍隊に對し最後の通牒を送れりとの報道は否認され且つマッケンゼン元帥は休戰條約に關し目下羅馬尼亞軍司令官と協議中なりと(アムステルダム電報)

●矢野通信課長

矢野通信課長は十五日來奉十七日夜大連へ向け出發せり(奉天特電)

●阿部氏通過

阿部鮮銀滿洲總支配人は十七日夜安奉線にて來奉直に大連へ向け出發せり(奉天特電)

●長連線(廢止)と朝郵

大阪商船會社にては長崎縣の命令により經營中なる長崎大連線は安東丸七百二十四噸一隻就航し一箇月三回航行朝鮮內にては釜山木浦群山仁川鎭南浦に寄港し居れるが右航路は既報の如く來る三月末を以て廢航し安東丸は阪神朝鮮間の臨時航に充當する事に決定したるが其の廢航理由は長崎縣の補助額僅少にして有利ならざるためより以上に有利なる航路に就かしむるためなるべく大連群山等より續航の希望を大阪商船に陳述しつゝあるも到底絶望なるべく既に會社は▲關係筋に其の旨の通牒を發したり、而して其の廢航の影響は朝鮮郵船社自營の北支那航路たる仁川大連芝罘線に良好の結果を齎らすべきが一方商船の長崎大連線廢航に代り朝鮮郵船にて該航路の經營を持續しては如何との希望ある由なるも長崎縣の補助の些少並に同社の船經係船料昂騰等の關係は其の實現を困難ならしむるものゝ如し

●朝鮮關係航路現況
命令自營合計二百二十隻五萬五千六百噸

最近遞信局の調査に係る朝鮮近海及び沿岸の定期船狀況を聞くに沿岸のみを航行するもの總督府命令百五十一隻四千五百二十四噸にして又自營は三十五隻一千五百二十二噸合計百八十六隻六千零四十六噸なるその內譯左の如し

▲總督府命令

隻數	噸數	受命者
一七	三、四三七	朝鮮郵船
三	八七	南浦汽船
一三一	一、〇〇〇	髙羽秀吉
一五一	四、五二四	

▲自營航路

隻數	噸數	經營者
三	五二五	朝鮮郵船
一	三五八	田口回漕
三	九二	田中作
三一	五一四	其他
三五	一、五二二	

三隻八十七噸は命令使用船の併用となり居れりために小計に入れず

而して朝鮮の近海及び沿岸を航行する者乃ち朝鮮各港と內地若くは外國間を航行するものは命令並に自營を合し二十三隻三萬四千九百十四噸となり更に右航路の自營は十四隻一萬四千六百九十五噸となれり內譯左の如し

▲命令及官營

隻數	噸數	經營者
五	一二、三三〇	鐵道院
六	五、七七〇	朝鮮郵船
三	六、三九二	日本郵船
三	三、八五七	大阪商船
二	二、二九一	大連汽船
一	一、八九九	互光商會
一	一、三八〇	阿波共同
一	五二四	對馬運輸
一	四八一	郵記公司
二三	三四、九一四	

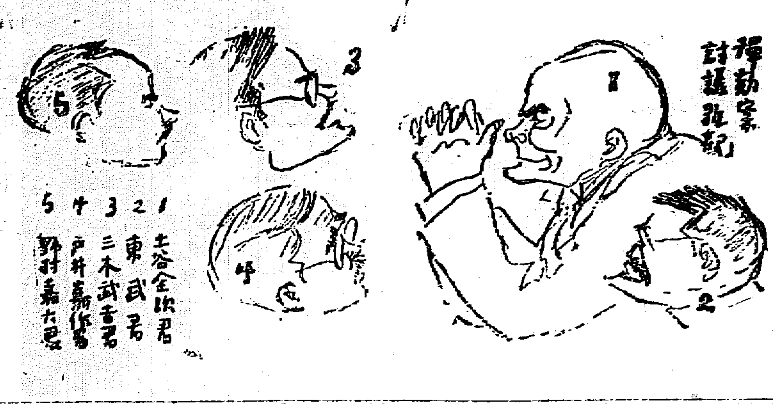
▲自營航路

隻數	噸數	經營者
八	八、五〇五	大阪商船
四	二、九八四	尼崎汽船
一	二、四八四	日本郵船
一	七二二	朝鮮郵船
一四	一四、六九五	

以上沿岸並に近海航行の船數は二百二十三隻五萬五千六百五十五噸となるなり尚ほ右表中には關東都督府の命令に係る大連芝罘安東縣線大連安東天津線を含み居りこれ純然たる朝鮮航路と認め難きも事實朝鮮側にも深き關係を有するを以て便宜上掲記したり

●朝鮮輕鐵成績

朝鮮輕便鐵道株式會社に於ては去る十二日定時株主總會を終了したるが其の大正六年下半期に於ける營業狀況を聞くに列車走行哩數は千二百八十四哩旅客人員一萬一千六百四十五人貨物噸數二千百九十五噸延人哩十一萬五千百六十七哩延噸哩三萬七百九十六哩又運輸收入は旅客收入三千六百六十四圓手小荷物收入二錢貨車收入二千廿八圓六十錢及び雜收入四圓十錢合計五千六百九十六圓七十五錢なり而して以上十二月廿三日迄は假運輸開業に過ぎず故に收入割合に尠きも次期に於て運轉回數を增加し本線と連帶運輸の開始の曉には收入の增加を來すべし尚河陽慶州間(二十九哩)は目下工事中にて慶州浦項間は引續き着手すべしと



●東拓の大植林

東洋拓殖會社京城支店に於ける大正七年度の植林は從來曾て見ざる大規模のものにて其の面積約一千町歩に達すべく場所は元山以北文川附近とし目下殖産課にて切りに準備中なり

●全北叺良價

全羅北道に於ける叺は當局者の指導獎勵と當業者の品質の改良を計りたる結果近時益々優良品を製産するに至りたって價格も漸次騰貴しつゝあり

●新地圖發行

臨時土地調査局にては技術課に於ける地測量の進捗に伴ひ主要市街地其他の一萬分の一二萬五千分の一五萬分の一三種の細密なる地形圖を作製し之れを參謀本部陸地測量部により發行し居れるが今回新に各道別の地圖(二十萬分の一)並に朝鮮全地圖(五十萬分の一)を製圖發行する事に決定したる由

●英新軍隊の誇り

英國首相ロイドジョージ氏は十六日下院に於ける演說中に目下佛國に出征中なる英國軍隊の大部分に關して左の如き注意を喚起したり曰く『英軍は佛國戰線中の最も重要なる部分を支持しつゝあり余はヴェルサイユ會議にて近々二三年以內に組織せられたる此の新軍隊が佛國より北部の防禦及び沿岸地方の守備を委ねらるゝに至りて自ら誇りなき能はざりき此等の戰線は佛國が進んで英國に引渡したるものにして佛國が英軍に附加する責任は重大なり』と(倫敦電報)

●東蒙古羊毛調査

滿洲の羊毛は從來滿蒙の羊毛は近時著しく世人の注意を惹起するに至りたるが今回東蒙古に於ける羊毛調査の爲め拓殖局囑託村津氏及び都督府囑託宮脇農學士は十六日鄭家屯方面へ向け出發す(安東特電)

●大阪たより

▲織物買氣旺盛 織物界の近況 春物の取引今尚ほ旺盛にして羽織紬は高手控へ品薄と取引の旺盛とは相場を引立てつゝあり稲京染呉服、桐生足利、八王子等の照りも自然相場引上げとなり殊に春物は孰れも活氣横溢の狀なれば格別の下押しもなく好況裡に春物の終局を告ぐべく財界一般純狀に傾きし折柄織物の需要に影響なきは一般の生活資料となりて流行を追ふ傾向盛んなると昨年の生絲高に腹を膨らまし今年の米高にて地方農家筋の需要增加せる爲めなりと

▲支那工業覺醒 支那の工業は時局以來政府の工業獎勵と相俟つて著しき發展を示し紡績の百二十萬錘紡績機の入手を始め生絲工場は七十三に上れり其他棉質壓搾工場百七十五に上り其他燐寸工場二十九石鹸工業八硝子工業二十燐寸工業セメント製紙莫大小帽子陶磁器工業の如き亦盛んに發展しつゝあり支那は工業原料に富み目下の工業界に於ても本邦の強敵となるやも測り難く其の特色より見れば支那の前途は益々有望にして工業能力を助長せしむる良絲を産し是亦前途強敵となるべき趨勢にして支那工業は著しく覺醒の狀なりと(大阪支局)

●天惠の商業地 天津の昨今
漸次堅實なる發展を見む 天津日本人商業會議所書記長 松村利男氏談

十六日午前內地より釜山に上陸天津に向ひたる天津日本人商業會議所書記長松村利男氏は曰く

▲水災後の天津 は餘程衰へに復した様であるが未だ租借地外には四五尺の溜水があるが之れは自然の減水に委せねばならない大分大きい堤防があつたのである李鴻章時代には天津を圍繞した堤防があつたのであるが用水の不足や其の他で之れが取毀ちをしたのであつたが六十幾年目といふ今度の大洪水があつてあゝした慘狀を見るに至つたのである、過般英佛兩國から租借地外に堤防建設の議が持ち出され支那政府に於ても三百萬兩を計上して高さ十尺上幅十五尺底邊五十尺延長約二十哩の一大堤防を建設することに決定して居るが何分にも

▲工費が無い爲延び〱 になつて居る何れ借款問題が提出されてあらうが之れは無論協定が出來る事と思ふ目下天津在留日本人は三千二三百名位で會議所も會員組織で外務大臣の管轄に屬し課税の強制權はなく唯會費として出費するのみで目下會員は同地重なる輸入業者八十五六名であるが目的は他と同樣で內地及び鮮滿地方から調査の依頼の多いとは驚く可き者で特に釜山の如きは絶間ない程である、戰爭の影響は受けぬ事もないが農産物を主とし且つ原料搬出地の天津としては影響を蒙つて居るといふわけでもない

▲急速の發展が出來ぬ 天津は同時に販賣地を有せぬので決して衰微の憂ひはない、客年の貿易額は七千餘萬兩であつて輸出品の主なるものは羊毛、棉花、獸皮、麻種、麥種、其の他農産物で山西、陝西、甘肅、各省、張家口方面の物資は總て天津を經由する譯で所謂天津商業地で將來益々發展を加ふる事は勿論であるが恐らく急速の發展は望めぬ然し巨船の繫留が約四十哩の沖合から曳船に依らねばならぬ事は天津商業狀態の一大缺陷だと思ふ而して輸入品としては綿絲綿布雜貨砂糖等が主なるもので特に砂糖の如きは非常な成績で英國の經營せる香港糖と商戰中であるが近く香港糖の驅逐が現される事は疑ひない

▲一般の商勢も 現在では英佛獨は既分手を攬げて居たが戰前は英と共に資金の融通船舶の不回航等で甚だ不振の狀態である、原料が豐富で勞力の安價な天津に工業が起らぬ事は最も遺憾な譯である、日本が優越して居る尤も目下の工業界は微々たるものであるが僅かに資本金三百萬兩の裕元紡績會社と三十萬兩の製粉所と中日實業公司とが僅に囑望されて居る位なものである。中日實業公司は三井と支那人とに依つて組織されたもので金融、鑛業其の他各方面に活動して居る、裕元紡績は日支合辦であるが

▲資本金不足の 爲め大倉組に託され現在では日本棉花會社の手に依つて經營されて居るが紡績絲としては原料が餘り上等でない爲めにボンベー絲を混同して漸く調和を取り製品として輸出されて居る天津の物資の輸出先は主として阪神及び阪神經由外國行きのものであるが兎も角一般の貿易額は增加する一方である例へ合上海漢口其の他が大發展を來たしても地の利に依つての商業地たる天津に好影響は蒙るとしても決して商勢權を奪去される事は斷じてないと思ふ(釜山)

日掲百種

十六日東京は淺草海禪寺で莊嚴な葬儀を執行せられた故蜂須賀茂韶侯は我外交界に多大の功勞のあつた人である▲明治の初年我政府は初めて公使を歐洲へ派遣する事となつたが當時金かゝるし恐ろしくもあるし何人も尻込みして誰一人行く者がなかつた▲時に侯は『俺が行かう國家の爲には先祖の財を拋つても厭はぬ』と決然公使の任を引き受けて巴里に乘り込んだ▲殊に夫人も同道した事は當時天下を驚倒せしめた德川家などからは大分異論が出たが侯は斷じて之を排けた▲隨員は新知識で名を賣つた光明寺三郎君が書記官で今の政友會總裁原敬君が書記生寺內首相が公使附武官と云ふのであつた▲何にせよ世界の粹を鍾めた花の都の巴里で各國使臣と肩を並べる譯に行かぬ其處で年に少くも五六十萬圓宛の私財を注込んだものだ▲歸朝當時は佛蘭西から特註文で取寄せた豪奢な二人乘馬車に一頭五千圓もするアラビヤ馬をつけて每日夫人同乘で乘り廻はし江戸ッ子の膽玉を拔いたもんだ▲侯が進んで斯く外國使節の手本を示したので以來鍋島、戸田、秋元、淺野なんどの大名華族が續々外交官として海外に行く様になつたとは某老人の話

謹告
本社取扱係る勸業及貯蓄債券本年一月一日新規加入にして大正七年二月一日第六十七回割増金付に當籤せられたる各位左の如し
本社は茲に芳名を掲揚し併せて謹告す
大正七年二月一日
東京市日本橋區坂本町十九番地
東京勸業株式會社
社長子爵 中園繁若
電話浪花 一四〇〇番

當籤者芳名
下關市豊前田町 金貳千圓 兒島林吉殿 (但し六十七回三〇五番)
長野縣下伊那郡平岡村 金壹百圓 秦清彥殿 (但し六十七回九九七〇五番)
旭川區六條通り五丁目 金壹百圓 芦田鶴治殿 (但し六十七回九八二一七番)
石狩國夕張郡由仁村下古山 金壹百圓 內田吉高殿 (但し六十七回七三八三五番)
札幌區南穗町二十六番地 金壹百圓 吉岡清藏殿
熊本縣上益城郡六嘉村上六嘉 金壹百圓 小林太平次殿 (六十七回四八〇五二番)
青島膠州町一十七號 金壹百圓 和田三郎殿 (六十七回四八〇五三番)
三重縣名賀郡國津村奈垣 金壹百圓 山口茂雄殿 (但し六十七回七七二九八番)
山形縣最上郡其室川村 金壹百圓 松澤トモ殿 (但し六十七回二九五三四番)

京城神社々掌出仕 城山春吉儀病氣の處養生不叶昨日午後一時死去致候此段辱知諸君へ謹告仕候
追て葬儀は二月十九日午後二時自宅出棺明治町東洋拓殖會社前空地にて神葬執行仕候
大正七年二月十八日
男 城山延命
同 城山鐵雄
人 谷村頼尚
友人 仙波德重郎

江戸名代 山川白酒 京城本町 電話四二七五番 龜屋

購買 精米 陸軍倉庫 詳細ハ二月十九日以降朝鮮官報ニアリ 龍山

佐野義三に告ぐ 急談ある居所知らせ 大阪天王寺 西

種苗目錄 ▼優良無比▲ 御申込次第無代進呈 東京市麴町區內幸町 東京農場事務所 種苗經營主任田邊農學士 ▼精確保證▲

フェリス和英女學校 横濱市山手第一八七〇
尋常小學卒業して高等女學卒業して更に完全なる英語を學びながら充分なる英語學力も養成したき若い者を募集す
◎健全なる日本的精神の修養◎家庭及社會に於ける實用的技能の練磨◎寄宿舍は愉快にして嚴格

英語の學び方
東京高等商業學校教授 神田乃武光生 外廿二大家講述
名譽教授男爵 齋藤秀三郎先生 (附錄英語生座右銘)
正則英語學校長 井上十吉先生
四六判紙表製四百廿頁 定價九十五錢 (送料三錢)
今書は英語界の重鎭神田、井上、齋藤の諸先生を始め二十大家が多年英語學生を薫陶せられたる經驗と研究とにより英語の學び方に就き懇切に注意と其捷徑を示し實力を以て英語研究者をして一層の努力を切實ならしむべき好參考書なり
水田先生著 英文典(新釋) 定價九十錢送料八錢
英語商用文書 定價八十五錢送料六錢
大阪屋號 東京京橋 大阪

磯村合名會社
營業種目
直輸出入貿易
工業用藥品諸材料
鑛業用品
各種機械金物
電氣瓦斯機械器具
みつびしアセチリン瓦斯マントル みつびし五斯ベーナー 製造販賣
社長 磯村音介

謹啓陳者弊社儀合名會社磯村工業所名義を以て營業罷在候處御高庇に依り日に增し隆盛に赴き候段奉鳴謝候就ては此際一層業務の擴張發展を期し從來經營の鑛山業山林業製作業の外新に直輸出入貿易を初め廣く左記種目に就き營業可仕旁今回名義を磯村合名會社と相改め候間何卒倍舊御厚情御引立賜り度奉懇願候
右御披露申述度如斯御座候 敬具
大正七年二月十一日
東京市芝區櫻田本鄕町拾番地

朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城 電話
支店 東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、會寧、新義州、奉天、大連、長春、哈爾濱、吉林
出張所 長春、開原、四平街、鐵嶺、傅家甸、龍井村
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

內科 小兒科 村上病院
京城永樂町一丁目(商品陳列館前)
院長 醫學士 村上龍藏 電話六一三番

…に取上ぐべきや否やは專門家も…之れも疑問と爲し居れり現に昨年…且又久原其他の有力方面より技師…し支那官憲に於てさへ其鑛床に就ては徹底せる見解を有せず同鑛の…地點區域は曖昧裡に附せられ居れ…に同鑛の價値は一抹の疑雲に蔽はれ結局經營の望なしとて之を放棄し…る多くは失望に陷りし狀態なりが

◉羽二重崩る　五六十錢崩落氣配

…機業休止中に屬する地方ありて…多く出廻らざる時期に當り歐…各方面は何れも後日賣物も勘からず…半恐慌的の暴落を演ぜしなり…流に人氣一搖し福井金澤川俣等は何れも一齊に名譽前下五六十錢…に當地位にあるのみならず其取引は生糸と併行的なれば採算關係に於ては格別の痛痒もなく依然とし…

本人船頭一名與人二名乘込み十二日法聖浦出帆木浦に向け航行の途同日夕方智島神合の暗礁に乘り…

住宅問題

▼衣よりも先づ食住が問題

我家族のために最も都合のよい様に設計

セカルブレス社長　山縣五十雄氏談

人生各般の問題中最も直接に大切なるは言ふ迄もなく衣食住の問題であるが、私は此中で最も重きを食の問題に措き、住のそれを次ぎにし、衣のそれを最も輕しとして居る者である、其理由は此等三ツのものが

◆人の健康を維持するに與る力の度合が此順序にあると信ずる故である。然るに世の多くの人は此順序を反對にして居るやうである。即ち衣に最大の注意を拂ひ、住を其次とし、食を最も輕んじて居るやうである。私の眼から見ると、誤れるの甚しきものと言はねばならぬ。思ふに此誤謬は多くの人に通有なる虛榮心より起るものであらう。衣を美にして他に誇り、尊敬を得んとするは頗る淺薄愚劣なる態で

◆理性の發達して居らぬ人の好んで爲す所である。論より證據、朝鮮人及び一般の婦人が如何に著飾ることに苦心するかを見よ。住宅問題につきても一般の人はやはり虛榮心に拘束さるゝ所が多いやうに思はれる。中流以上の住宅で最も好き位置にあり、最も多くの金のかけてあるは座敷で、居間や寢室は比較的閑却されて居るが普通である、その理由はやはり他に誇り示さんと欲するに在るやうである。私は此の如き家の建方は

◆根本的に間違つて居ると思ふ。家は我々が愉快に且つ健康に住居する爲めに建てるものであるから我及び我家族に最も都合の好いやうに造るが當然である。私は東京に於ても、また京城に於て粗末ながら住宅を建てたが、之を建つるに當りいつも此考へに基いて設計した、即ち南向きの最も日當り好く明るい所に居間、書齋、及び寢室を置き

◆臺所及び食堂を次いで好き位置に据ゑ、座敷及び玄關を北向きの最も惡い所に持つて來るやうにした。東京の住宅は全然此考へに基いて建てたもので、座敷は北向きで、庭に向つて居ない。然し京城の住宅は平生客間を書齋に兼用して居るから、客間を東南の日當りの好い所に置くことにした。私の經驗を以て見れば、住宅を設計するに當り、座敷に重きを措かぬやうにすると

◆平生家族の暮すに甚だ都合の好い間取が出來る。私はすべて自分及び家族の健康を本位にして家を建てるが本當だと思ふ。それ故に私の家では平生自分及び家族が最も多くの時を費す所の室にはどれにも十分日光が當り空氣の流通の好いやうにしてある。且つ京城の冬は格別に寒いから、專門家にも相談し、自分の考へも加へて防寒設備に多くの注意を拂つたが、無論完全では無いけれど、昨年の

◆嚴冬も比較的樂に過ごすことを得た。そして夏も却て涼しく感ずるのである。此防寒設備につきては私は專門家でないから細目にわたりて述ぶることは出來ぬが、窓は二重にし、縁側にはガラス障子と雨戸とを用ゐ、ガラス障子を外に、雨戸を内にした。それは朝夕雨戸を開閉するに當り

◆室内の暖まりたる空氣を逃さぬ爲めである。それから縁の下から冷い空氣の入り來るを防ぐ爲めに、煉瓦で塞ぎ、且つ天井裏及び疊の下には古新聞を敷いた。斯の如き簡單なる設備と、暖爐一箇及び温突一間で、嚴冬を過ごしたが、さほどに寒さを感ぜず、子供等は足袋をも用ゐぬ日が多かつた。

▲野の道　―東大門外―　水の解けてチヨロ〳〵なりに流れてゐる川添を、とぼ〳〵遠く野の道が、ほか〳〵と暖い陽を受けて、後方の丘の木叢まで續いてゐる。野の草の萌が緑になるまで――。鮮童は暖い荷を負うてこの道を歩きつゞけて行くかの樣である

●街路から熱湯噴出

慘憺たる汕頭の光景

支那劇場開演中觀客二百餘名樽詰の如く埋沒す

汕頭より香港に到着せる一船員の談話によれば汕頭市中の家屋は殆んど全部倒潰せる慘狀にて在留外人の如きは折柄碇泊中の船舶に避難し和蘭領事館の如きは全然倒壞し英國領事館の外壁は大龜裂を生じ稅關亦全潰の厄に遭遇し街路は到る所に龜裂を生じて諸所よりは盛んに熱湯を噴出し居れり斯くの如く全市慘憺たる光景を現出し居れる中にも一際悲慘なりしは折柄演中の一支那劇場にて觀客俳優共々に頂好々的で宇頂天の眞際中時は十時を過ぎる十分大搖りに搖りたる大震動にあはやと云ふ間もあらばこそ顛轉倒ご大崩壞し無慘にも二百餘名一度に樽詰の如く埋沒をみせる事なりと（香港電報）

●砂糖騰る

臺灣が不作で買煽る　東京は廿五錢

米を始め各種主要の食料品が底なしの昂騰を示しつゝあつた間に獨り砂糖のみは原產地臺灣が年々豐作で昨年の如きは五百三十萬擔と云ふ好成績を示したお蔭で割安を示して戰爭當初の見せた高値より遙かに下落してゐたが本年は昨年以上の豐作で六百三十萬擔乃至五十萬擔の生產高と豫想せられた臺灣が事實に於ては百二三十萬擔の減產となつて豫想に

◇多大の違算を生じた一方從來さして重寶がられなかつた砂糖が他の物品より格安といふ點で近年頓に年末贈答として其需用は增加して本年一月二月には殊に地方輸送が目立つて來た此結果は延いて問屋筋中をして買煽らしめ一月初旬赤双目百斤十七圓二十錢位を出でなかつたものが十四日には約二圓の暴騰をして十九圓二十錢といふ

◇法外の高値となつた隨つて双目を原料とする白砂糖は初春二十四圓位の明治製糖會社の製品が二十四圓八十錢に大日本製糖の二十四圓三十錢位であつたものが二十五圓を突破する勢ひである元來昨今は年を通じて新糖の出盛りの期とて價格も最も低廉なる際なるにも拘はらず前述の如き高値を示すとは誠に不細工な次第で此現狀を持續する時は高値を呼ぶ六七月中の中元時季ともなれば如何に奔騰するだらう！砂糖も矢張り物價の昂騰に釣込まれたのだ（東京）

◉軍醫一家鏖殺を圖る

岡山縣上道郡芳野村淺越豫備一等軍醫高月三郎氏一家を鏖殺せんと企みし同郡操陽村倉田の豫備二等軍醫藤本助次等は岡山にて令狀の執行を受けたり（岡山特電）

◆河馬に頭がないと大笑

賑つた昌慶苑

◇細雨を溶かしたやうな空には兎の毛ほどの雲もない、十七日の日曜は寒くこそ吹いたれ射す日の影に綻びさうな日和なので、近年前から家族連れで散歩に出るものが多く、殊に昌慶苑行きの電車は來る電車も〳〵夥しい人を吐き出して居た◇老連れて動物園になつたやうに、枝ばかりになつた立樹の間から、鳥獸の樓閣がチラ〳〵覗いて居る、暖かな日の光に毛皮の艶を見せて居る、…ばかりに平和な春天地である◇子供連れが多い故か、見物の足は自然動物の方へ向いて行く、取付の山猫の籠に小

◆河馬を見る人　―昌慶苑にて―

學生が五六人『やあ、大きな鷲だなあ、虎だ』『虎はライオンよりも強いだらう』『そりや虎さ、虎はライオンよりも強いよ』『馬鹿を云ふな、ライオンに敵ふものか。先生が然う言つたぢやないか』無邪氣な水掛論も先生を持出したので漸く勢がつく

◇獅の元氣なのに引き換へ、人氣者のライオンや虎は今日あたりの陽氣にさへ弱つてしまひ、室の硝子戸をスツカリ閉て切つて、暖爐まで焚いて貰ひながら、また日向の方で小さく蹲へて居る

◇河馬の前では小さきションや君やメリー嬢が六七人、二人の母さんらしい人と共に、拳で何やら盛んに喋つて居る、能く聽くと子供が母親に質問して居るのだ『お母さん、河馬は何處に居るの』『舞鶴に居ます』『此河馬は阿弗利加から來たのですつて』『河馬は頭がないの』―洋の東西を問はず子供の質問は大抵似寄つたものだ

◇其處へ日本の內儀さんが二人來る、一人は子供を負つて居たが河馬の尻を見て『こすりや頭がないんですよ』と連れの婦人を顧みる、連れの婦人も『おやまあ―』と感心して居たが背の小供は怜悧者『母ちやん此方はお尻よ』と注意したので二人共顏見合せ『あらまあホヽヽ』『ハヽヽヽ』

◇動物園を見たものは、大抵博物館から植物園の方に廻つて來る植物園の溫室は西洋花の盛りだが、これは勝手に內部に立入る事が出來ぬから到底心ゆく迄觀賞しやうと云ふ譯に行かね、唯だ呆氣なさ相に入口から眺めるばかりである

◉枋木の横綱振

▽―聊か面差氣だが
▽―興味ある土俵入

横綱枋木山は十四日出羽の海部屋に於て稽古かたがた初めて横綱の土俵入りの式を行つた來會者は常陸山會副會長

▲秋元子爵を始めとし最負客三百餘名で枋三時先づ餘興を始し太神樂漫花節等を終りて秋元子爵は枋木山の横綱九州山の大關昇進に對する祝辭を朗讀し三宅碩夫氏兩人に代りて答辭を述べ夫れが終ると枋木山は

▲常ノ花を露拂びに兩國を太刀持ちに前後に從へ自身の鍛しは出來間に合はぬため師匠出羽ノ海が擱ゝを張つた際水戸家より贈られた例の三つ葉葵の定紋付いた對の化粧廻しを締め烏帽子裝束の行司錦太夫に導かれて面差氣に稽古場に靜かに

▲伏目勝ちに歩を運び式の如き順序は不知火の型に據る常陸山大錦と同樣で未だ土俵に馴れぬため些か沈著には乏しかつたが駄な當て込みツ氣等は微塵もなく

▲お定まりの四股も充分力が入つて頗る立派に見受けられ大喝采を博した斯くて稽古場に天ぷらおでん其他の模擬店を開き一同飯を盡して七時散會した枋木は巡業の途次三月中旬伊勢大廟に參拜の上名古屋の興行から稽古旁々横綱を披露するさうである（東京）

●元祇園老妓逝く

京都の勤王藝妓として知られし祇園のきみを事中西きみは五年前廢業し其後茶三昧に餘生を樂みつゝありしが十七日朝老病にて死去せり享年七十五歲（京都特電）

◉危ふく沈沒

忠淸南道保寧郡熊川面蘇城里張洪神外六名は朝鮮帆船に乘込み籾三百十九俵を積みて去月三十一日午前五時半頃熊川港出帆群山に向け航行途中熊川面永浦里の沖合に於て强風襲ひ爲め危く沈沒せんとせしも幸に暗礁に坐して危難を免れ乘組員は何れも救助されたり

●城山丸吉鵞逝く　京城新町名妓…は兼て病氣にて療養中の處十七日午後一時遂に死去す葬儀は十九日午後二時…にて執行…

學校めぐり

財團法人　淑明女子高等普通學校

◇手紙文其他の手蹟が日本の女子に劣る處がない

是校は明治三十九年五月創立されたものにして朝鮮女學校の嚆矢である。現學監淵澤能惠女史が渡鮮して以來專ら朝鮮婦人の狀態を視察して深く

◇女子教育の必要を感じ女學校設立を計畫して百方これを努めたところ個々有志者の贊同を得、又此計畫が嚴妃の知る〻所となつて嚴妃は自から校費を補助し以て現校長李貞淑及び學監淵澤能惠兩女史に兩班女子の教育を託したのが抑々此校の起源である。設立當時は私立明新女學校と云つて

◇生徒が僅か五名に過ぎなかつたが段々校運も隆盛となり本科、豫科、技藝科等を設け明治四十四年朝鮮教育令實施に依つて私立淑明女子高等普通學校と改名し校內の組織も改善されて全く面目を一新した位置は京城の中央とも云へる龍洞宮の跡にして面積が約二千坪、昨年より講堂を新築して大いに擴張を試みてゐる、そして是校の生徒は特に上流社會の女子が多い。又生徒の

◇成績も非常に良く日本の手紙文或は其他の手蹟も少しも日本の女子に劣る處のないのは內地人も驚異の眼を開く位ゐである。卒業生は女教員として各女子普通學校の依賴多く又一家の主婦としても賢母良妻の德を充分に備へてゐるといふのが專ら朝鮮人間の評判。そして松本幹事の話に依れば朝鮮の女子は教師を敬愛する心が强くて其の點に於ては內地の女子も及ぶところでないとの話である。

確實 安全 保證 的確なる致富法

勸業債券利用

年四十割以上利殖　●詳細御申込次第進呈す

大阪市北區堂島濱通一丁目　勸業債券信託社　電話一五九〇番

第六十八回勸業債券（拾圓券）賣出

■總額　八百萬圓　利子年四分（每年六月拂）

■賣出　三月二日より十五日まで

當銀行、各地代理店、取扱店並に各地郵便局にて賣捌す　郵便局より直接郵送の場合は通數の多少に拘らず送料金拾錢也を申受く

■くじびき　初回は本年五月（割增金總當り）以後五箇年間は年三回（一、五、九月）其後は年二回

■割增金

等級	金額	初回	二回目以後每回
一等	貳千圓	二十四本	八本
二等	百圓	三百七十六本	四十本
三等	拾圓	五百六十本	四百本
四等	五圓	一千四百四十本	七百五十二本
計		二千四百本 九萬八千四百圓	一千二百本 二萬七千七百六拾圓

大正七年二月

東京市麴町區內山下町（振替貯金口座東京第四番）

日本勸業銀行

六十八回　二千圓のくじ　廿四本外澤山▼

新債券

▲即賣　一通拾圓、郵送料一口十二錢　初回三月二日より御送り致します

▲豫約御申込は本日　十錢御拂込になれば三月二日より債券番號御通知致します

▲月賦賣　十ケ月拂、最初一圓六十錢御拂込になれば三月二日より債券番號御通知致します賣切となら御注文を願ひます

東京市麴町區內山下町（日本勸業銀行構內）　株式會社　勸業債券月報社

振替口座東京一八、一六三番　電話新橋三一九、二〇三番

同　福岡支店　福岡市橋本町下呉服町　振替福岡九五五〇番　電話一五四五番

LEGUMON

新滋養劑　レグモン

肺結核、慢性腎臟病、糖尿病、乳汁分泌不足、熱性病並に其恢復期其他一般病中病後の衰弱に對して最も有力なる營養增進と强壯の效を奏する代表的國產滋養劑●

定價　百瓦入　金壹圓貳拾錢　二百瓦入　金貳圓貳拾錢　四百五十瓦入　金四圓五拾錢

說明書無代郵呈

大阪市東區道修町　一手販賣元　武田長兵衛

たんせき良藥セキドミン　拾錢　貳拾五錢　五拾錢

櫻御殿

第百五十四回　大阪　霞の家主人

朧月（十一）

『此のお藥を御女中へさし上げることは出來ぬのでござりますか』

宗之助は念を押して問いた

『お藥を下されたお武家樣が、幾度も〳〵念を押して被仰いました、且那樣は殿方、召し上つても差支ございません、早くお遣げなさいまし、些とでも苦痛が助けてお上げ申したいと存じます』

内儀は何も知らずに云つた、宗之助は立ち竦む

桐島は、父の口から聞いた首切刀を持つ士が、何處に居るかと氣遣ひながら、命を掛けてまで思ふ男の苦痛を、少しも早く助けたく氣を焦思つて

『宗之助どの、早うお上げなさいましよ、何樣大病でも、一度に治くなる妙藥だと被仰いました』

『然し、御女中が召し喫ると、立ち所にお命が無いと仰せられたではございませんか』

『夫だから好いのでござんす、これが有村樣とわたしと代つて居たら、それこそ大變でござんすけれど、有村樣が召し服るに、何の障りがあるものでございますか、あなたがお上げなさらずば、わたくしから差し上げます、お藥をお貸しなさいまし』

『いゝわ、わたくしがお上げします』と宗之助は強く云ふ

助左衛門は表の間に佇んで、奥の樣子に氣を付けた、大概の推量はついて居るが、もし人違ひでもあつては大變と思ふので、確と樣子を探らうとするのである、そこへ利右衛門が還つて來た

『何うござるな』

『まづ見當が付いたやうぢや、今あるかも知れ申さんわ』

利右衛門は容體はしげに與を示す入る、此時宗之助は初瀬の枕頭へ行り寄つて

『旦那樣、お藥をさし上げます、桐島さまも、これにお越しでございます、お内儀もお居でゞございます、お女中が召し服ると、一時に命を絶つ恐しいお藥ぢやさうでございます、その御意でお服りなさいまし』と言外に心を込めて云つた

初瀬はそれが分つたらしく有るか無いかの聲をして

『わしは藏かね、藥も何にも欲しうはない』と云ひ切つた

『何故でございます、有村樣何故でございます、あなたの樣にそんな御無理を被仰るものぢやございません』と桐島は傍へ寄つて『お内儀さんも心配して下さいます、ちッとでも早く快くなつて、若樣へお聞の一言も被仰つて下さいまし』

『否ぢや〳〵』と初瀬はまた顔を掉る

『では、後刻お服りなさいまし、このお藥はわたくしがお預り申し置きます』

宗之助はやつと安心したやうに藥包を枕頭の盆の上に置いた、女が服むと立ち所に命を失ふ、それを聞いて起死回生の妙藥を服まぬといふ病人の身上に疑ひがあつ、助左衛門はいよ〳〵尋ねる初瀬に相違ないと知つて、刀の鯉口を寛げつゝ、機を待つ、内儀は失望らしい面をして現はれた

『どうぢや、妙藥を服まれたか』

〽ねるより木村屋パンの京城土産が待ちかねる（京城明治町 電話二八七〇）

『いや〳〵』と内儀は手を掉つて

『何ういふものかお服りになりません』

『はて、段程の妙藥を……？』と若者へる顏をしたが『それなら拙者がお服ませて進ぜう』

と云ふなり上り框を駆け昇らうとした、利右衛門は慌てゝ止めて

『助左衛門殿、血相して何れへお越しぢや』

◎日報俳壇

國オンドル會詠草（平頭）（四）

冬の雨

行衣干す空坊の火や冬の雨　雪居
冬雨や句趣に乏しき夜の障子　白天
冬雨や戸に倚る女の素足哉　同
冬雨や驛路眞向に沈む馬車　清流壁
粥を炊く曉寒し冬の雨　弓山
冬雨の止みし夜刻む時計哉　同
冬雨の川尻に汽笛鳴らす船　鴨原
灯影洩る冬の庭鳴く仔猫　同
冬雨に濡れて來し馬が鼻鳴らす　同
冬雨に奥かれて行く四人の馬車　同
灯影流れて庭木光る冬の雨　隈山
雀啾々寄り添ふ納屋冬の雨　小猿
心閑に讀み次ぐ物や冬の雨　城山
冬雨に隣臼搗く響きかな　小嵐山
夜の底に沈む靴音や冬の雨　芳宙

無病長壽を希ふ人ありや　然して津村兄弟商會の人蔘エキスを　知らざる人ありや人蔘エキスに親しまる方は一生健全也　京城本町一丁目　電話一四八〇　津村兄弟商會

烏兎居士を病床に訪ひて　静軒

病める烏兎居士をその病床に訪うたのは、二月十四日であつた、南山の上をゆるやかに飛ぶ白い雲、松の梢からほろ〳〵と聞ゆる雉子の聲、春は遠いさいふものゝ麗らかな日を居士は南縁に近い明るい室に靜かに横に親しまれて居つた。そして病中のつれ〳〵に成された句が示された。

ゐざり出て縁に山觀るゝ哉　烏兎

私は左の拙句を酬いた。

屋根に雲影も居士の春淺し　静軒

そして枕邊の盆栽に二人でこんな句を抽いた。

■雛ノ御病へ

群れ〳〵て何に出づ雀の子　烏兎
お忙はしい勘定春の大帳場　静軒

■大安人君へ（御婚儀ありしと聞きて）

鶯の聲に契るうらゝ哉　烏兎
立ち添ふ心なる句もあらな　静軒

■一象氏へ

煙突の佐を太守に句・ありて　烏兎

■お議會司に入りて

小丁稚の世辭は世辭と承知で春寒し　静軒

士は遁つ付けも用意し得るであらうと云つて居られた。

新刊紹介（到着順）

▲海鮮評論（三の二）　一三三錢岡山縣岡山市大町字市下石井三〇六社
▲懲務語靑年（二月號）　二〇錢東京本郷區龍岡町三四社
▲日本一（二月號）　内藤外觀其に接務なり志賀重昂氏の露佈旺安王の死、淨田博士、中島信虎、後藤德氏、松波博士、山船博士、霜田博士、丹羽男、新木日南氏、岡本綺堂、小杉天外氏等の論說になる趣味津々たる讀み物多し　十五錢東京京橋區南德佐和町社
▲青年（二月號）　二十一錢東京本鄕區駒込神明町三三八番興社
▲農業雜誌（二月號）　十錢東京京橋區本材町二一一學農社
▲斐（一二）　十八錢大阪東區今橋五の一河野西同發會
▲帝國靑年（二月號）　十二錢東京麴町區內幸町一の四社
▲インダツシタイムス（一〇號）　二錢東京芝區琴平佐久間町一の一英語新聞社
▲世界公論（二月號）　二十五錢東京京小石川區大塚辻町二四社
▲日本幼年（三月號）　十三錢東京京橋區南傳馬町一東京社
▲青年界（二の二）　十三錢東京麴町區三番町三の一青年社
▲經濟資料（四の二）　二十五錢東京麴町區下二番町六八外交時報社
▲少女（六三）　美しき口繪と氣の利いたる繪畫入りは三月の雛祭り號に於て遺憾なく其の精彩を發揮したり（十八錢東京時事新報社）
▲少年（一七五）　『少女』の兄さん雜誌として勇ましき記事快活なる記事面白き記事にて全紙充填む十八錢東京時事新報社
▲少女畫報（七の三）　繪畫彩色さも十數葉、讀み物約四十篇何れも有益多趣味なり（十八錢東京々橋區桑町一東京社）

讀者の領分

▲電話が間違つて掛つて來るといふので隨分苦情をいふ人が尠くないが私の家は殆んど毎日の樣に六三八番の巴洲亭やら八三二番の松葉などゝ間違つて掛つて來るソレも遊の中ならマダしもだが夜半の十二時過ぎから一時にかけて寢て居る處を起されて掛つて見ると料理の誂注文やら藝妓の課申附だソレでも人には間違ひはあるものとしてツイゾ局へ苦情を申込んだことは無い毎時も料理屋と隣れ繋ぎ結んで居るものと諦めて居る…（似た電話の持主）▲京城も開けたものだ第一內地人向き專門の菓子屋抔は十何年前までは江川の外になかつたと記憶するソレに驚くべし出來たり專門の佛具居や專門の花屋が澤山とは眞に隔世の感がある（蒼田翠海生）▲恐犬生の云はるゝ通り狂犬病には困ります昨年春の狂犬病の大流行の際私の子供が咬まれて大騷ぎをし又心配をしました苦い經驗を嘗て居ます一般の畜犬家が公衆衛生などを考へて異ればよいけれども無頓着で甚だ無責任だ宜しく犬を飼養する人は他人に對して自己の犬が狂犬病等に罹つて迷惑を掛けぬ樣豫め自分の犬の始末位はしてもらはないと犬を飼ふ資格は無いではないか（第二の恐犬生）

●肥料類貿易額　六年中の增減

［illegible］巨額なり就中大豆油粕に於て千六百四十七萬四千四百四十二圓、智［illegible］九萬九千九百十九圓の增加を示し其の他の肥料に於て一、二種かに［illegible］を示せるものなきにあらざる［illegible］に於て二千八百九萬五千七百四十［illegible］太圓の增加を見［illegible］油粕、骨粉、［illegible］出總額は二百三十一萬三百〇六圓にして前年に比し百八十一萬七千［illegible］の減額を示せり之れ［illegible］

肥料名稱	大正六年 數量	大正六年 價額	大正五年 數量	大正五年 價額
其他油粕	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
米糠	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

しとなし一［illegible］の開設を傳へた［illegible］而が滿洲及靑島株式會社は既に成立［illegible］に於て奉天に於ける同計畫［illegible］止りて未た成立［illegible］に終るべきは像想するに難からず又に於てか所謂合同も新規會社設立は到底不可能なるべしとの觀測を［illegible］ものなりと

軍隊毛布

此秋來本社がロシア軍隊防寒用毛布の約束を提供せしに非常の好評にて御注文全部に應じ兼候に付更に五千枚を提供し茶鼠大判二枚續き（無地）一組原糸値段なる二圓九十五錢で御注文に應ず至急ハガキで申込あれ受付順に引換郵便で發送す當地の店では到底五圓以下で買へぬ實用品也

東京織物仲繼店

蛇印 アンチピリン丸

かぜねつ特効藥

▲求めよ!!　▲用ひよ!!　▲なをる!!

●感冒●ねつ　●流行性感冒　●頭痛●麻疹　●リウマチス　●おこり

◎本劑の特長は　◎最新高貴藥の配伍　◎絶對に副作用なし　◎胃中にて溶け易し

十錢　二十五錢　五十錢

本舗　大阪　東京　丹平商會　賣捌は全國各藥店

質　大口歡迎　黄金町二丁目長谷町　電話二九一六番　田村質店　商品擔保便利取扱

ヨクキク！　ひぜん

芳香ひぜん水

大阪市西區新町通二丁目　本舗　田知本和三郎製　各藥店販賣す　振替大阪二八番

りん病ばい毒　患者諸君

▽にせドラッグあり御注意

詐欺漢なり

京城南大門外停車場通　花柳病藥　ドラッグ商會

京城龍山等各地　僞物有御注意

寒い日の

化粧衛生には……

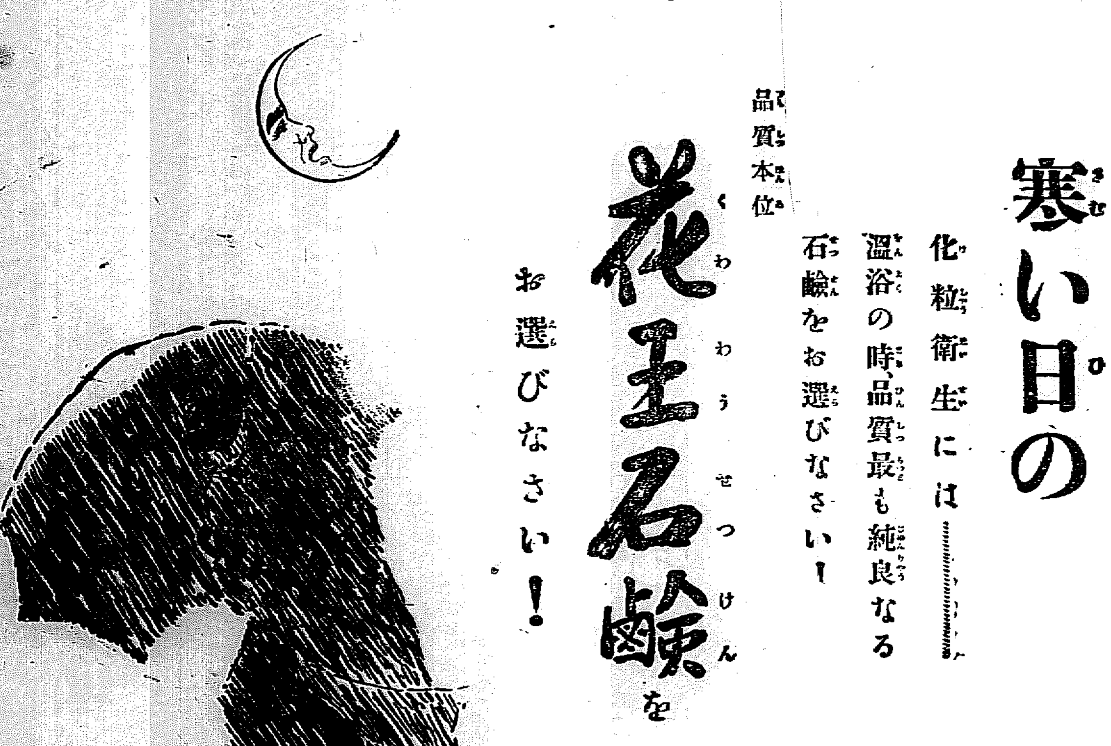
溫浴の時品質最も純良なる

石鹸をお選びなさい！

品質本位

花王石鹸を

お選びなさい！



花王石鹸 香水 總發賣元　東京馬喰町　長瀬商會

花王石鹸 香水 關西代理店　大阪安土町　大崎組商會

ナルホド

大學目藥は能く効く筈だ

吾輩は學者の立場から之を稱讚する！

內外國藥店に販賣す

大阪商船株式會社 仁川出帆廣告

仁川出帆

神戸大阪行（釜山寄港）　大信丸　二月　日　午後二時出　須磨丸　二月廿六日　後五時出

木浦、釜山、嚴原、與ノ浦、長崎行　安東丸　二月十八日　前十時出　信濃川丸　二月廿八日　後二時出

大連行　安東丸　三月十三日　正午出　信濃川丸　三月廿四日　正午出

元山出帆

西湖津、新浦、城津、清津行　安平丸　二月　日　後十二時

釜山、門司、宇品、神戸、大阪行　安平丸　二月十九日　後九時出

大連出帆

上海、基隆、打狗行　湖北丸　三月十一日　後四時出　基隆丸　三月十四日　前六時出

內地各港出帆主要航路

南米行　毎月一回　北米行　毎月一回　濠洲行　毎月二回　爪哇行　毎月一回　南洋行　毎月一回

大阪商船株式會社仁川支店　電話

仁川代理店　野口商會

元山代理店　［illegible］

京城代理店　［illegible］

共同汽船仁川出帆

阿波共同汽船株式會社

大連行　共同丸　二月十六日午前入港

本町四丁目（電話一七三番）

釜山出帆廣告

門司、神戸、大阪行　和歌浦丸　二月十二日　後五時出　立神丸　二月　日　後五時出

元山、清津行　［illegible］

佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天草丸　毎月二日九日十四日廿六日

大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆

大阪直行　下之關　秀吉丸　二月十五日　後四時出

大山丸　木浦、釜山、下關、神戸行　二月十九日　後四時出

君代丸　二月廿一日　後四時出

神代丸　二月廿四日　後四時出

日本郵船仁川出帆

大連行　相模丸　二月十九日　正午出

三河丸　二月十八日

高砂丸　二月廿八日

仁川郵船［illegible］

織居自動車部　金泉支部

開城自動車着發時刻

西村眞太郎著　會話精通　定價一圓三十錢　京城日報社代理部